

3-2-4 施工計画／調達計画

3-2-4-1 施工方針／調達方針

(1) コミュニティ開発支援無償による実施の検討

本計画は、我が国のコミュニティ開発支援無償資金協力のスキームに従って実施されるが、本計画のコミュニティ開発支援無償資金協力に係る交換公文（E/N）ならびに G/A 締結後、ナイジェリア国政府は、施工監理コンサルタント及び施工業者の選定・契約を調達代理機関に委託する。また、施工監理コンサルタント及び施工業者は、調達代理機関と契約を締結し、それぞれの業務を実施する。

1) 現地施工業者

学校案件に応募してくる業者は一般的に中規模以下の建設業者で、厳格な施工監理のもとに工事を行った経験がないため、ほとんどが十分な施工計画を作成できずコンサルタントの審査を満足できる施工技術水準にない。しかし、UBEC/SUBEB 発注の学校建設では検査が十分でないので、それで通用している。当計画では業者選定において、工事実施可能な財務状況および品質を確保できる有能な建築技術者を保有する建設会社であることを条件として入札業者を選別する。そのため、入札図書で次の項目を要求し、精査する。

- 最近3年間の財務状況（資格のある会計士の署名が必要）
- 品質管理のある外国プロジェクト工事の経験
- 最近5年間の類似種類・規模の工事の経験
- 施工計画、工程計画のレベル
- 本工事に従事予定の技術者、管理者、作業長の資格、経歴 など

2) 現地コンサルタント

現地にコンサルタントとして看板を掲げている会社は数多くあるが、一般に住宅設計会社であり、構造設計、設備設計、施工監理を総合してコンサルタント業務を実施できる会社はない。施工監理が業務として確立されておらず、ほとんどの学校建築が監理なしに施工されているため、その分野の技術や人材は育っていない。監理経験と高い技術力は望めない。このような状況の中で第二次と同様に、本計画においては監理補助のみに現地技術者を活用することとし、日本人コンサルタントによる技術指導を実施し、所定の品質確保や工程、安全業務などの監理を行う必要がある。なお、工事開始時には、現地コンサルタントの技術監理者を集め、施工監理のポイント・方法、品質確保のための理由、施工監理書類・書式への記入などを指導し、施工監理方法の統一化と徹底を図ることとする。

3) 本邦コンサルタント

一般無償資金協力と異なり、現地の施工業者による本体施工となるため、品質管理、工程管理及び安全管理に係る本邦コンサルタントによる施工監理及び技術指導を強化する必要がある。

できあがった工事のチェックに加え、第二次小学校建設計画（カノ州）において次表のような施工監理技術指導を行った。

表 3-12 第二次小学校建設計画（カノ州）での施工監理技術指導

時期	項目	施工監理指導
工事開始時	施工計画、工程計画、工事工程表	修正指示、指導。安全指導。
施工時	毎月の工程計画、工事工程表	修正指示、指導。
	やり方、墨出し	墨壺提供、墨出し指導、レベル出し指導。
	埋戻し	埋め戻し材、転圧方法指導。
	コンクリート練り	配合計画指導。投入順、かくはん、時間管理指導。
	鉄筋	鉄筋施工図作成。鉄筋加工指導。
	型枠	斜め型枠原寸墨作成・指導
	鉄骨	製作図作成。テンプレート作成。
	アンカー	位置出し、固定方法指導。
	母屋	通り、レベルの出し方指導。

(2) 実施体制

1) 責任・実施機関

本計画での責任・実施機関は、基礎教育普及化委員会（UBEC：Universal Basic Education Commission）とオヨ州基礎教育普及化委員会（SUBEB：Oyo State Universal Basic Education Board）である。ナイジェリア国では、初等教育に関して、教育政策およびカリキュラム編成の責任は連邦教育省（FME）及び基礎教育普及化委員会（UBEC）が責任を負う。州教育委員会（SUBEB）および地方教育委員会（LGEA）が初等教育行政の実務を管轄している。

本計画は、コミュニティ開発無償資金協力案件として、ナイジェリア国政府側の責任・実施機関である UBEC と日本の調達代理機関が締結する調達代理契約（Agent Agreement: A/A）に基づいて実施される。この中で、UBEC/SUBEB はナイジェリア国におけるコミュニティ開発無償資金協力事業の全体を統括する機関であり、調達代理機関は契約先として円滑な事業実施の責務を負うこととなる。また、ナイジェリア国政府側の主な関係省庁（UBEC、FME、国家計画委員会 NPC）と JICA 間の各々の代表からなる政府間協議会（Consulting Committee）を設置し、国レベルで調整・確認を要する事項の協議を実施する。また、NPC、FME、JICA ナイジェリア事務所及び調達代理機関でワーキング・グループを設置し、進捗確認及び技術的確認事項などの協議を実施する。以下にその体制を示す。

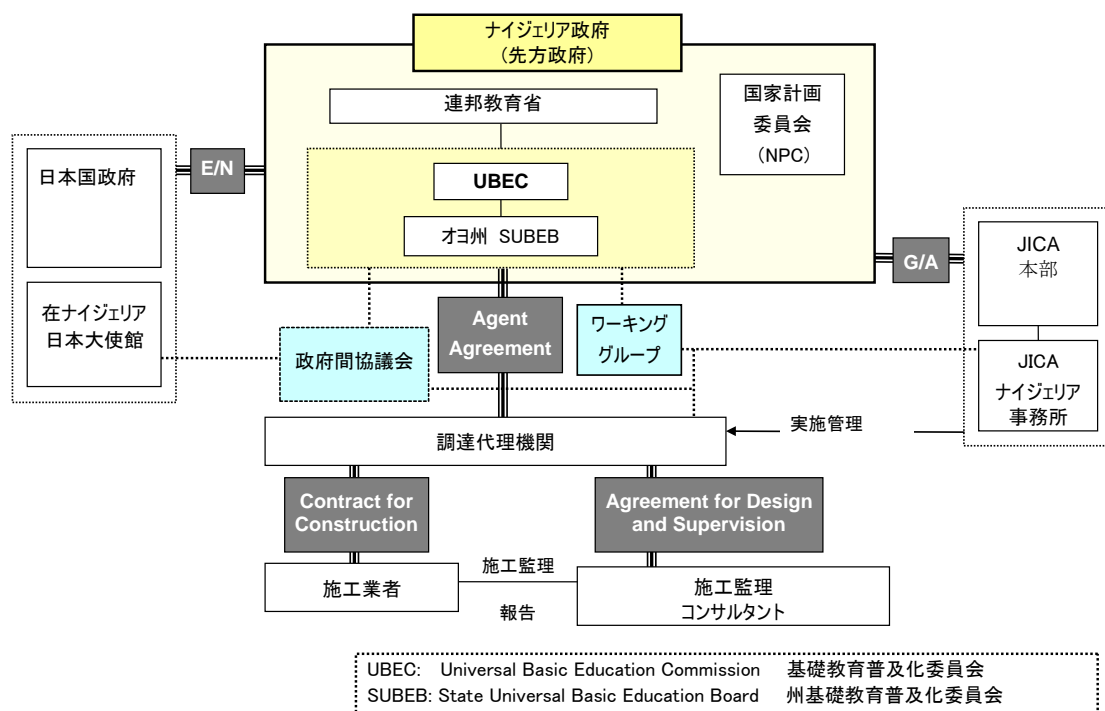


図 3-6 プロジェクト実施体制図

2) 調達代理機関

① 実施内容

入札図書作成参考資料は、概略設計調査を実施した本邦コンサルタントが作成することが望ましいが、その選定についてはナイジェリア国実施機関の了承を得ることとする。その後、調達代理機関は、日本政府よりナイジェリア国側に推薦され、責任機関の受任者として本体契約のコンポーネントが適正かつ、円滑に実施されるように総合的な監理を実施する。また、調達代理機関は、入札事前資格審査（PQ）及び入札図書を取り纏め、本計画での入札手続及び入札を執り行い、施工時には総括的な監理を行う。

② 実施体制

本計画での調達代理機関による各々の業務実施は次のとおりとなる。

実施設計期間（入札手続期間）	施工監理期間
本計画の入札会をナイジェリア国で実施することを想定し、調達代理機関の現地事務所は首都アブジャに置くことが望ましい。なお、統括監理者は事務所開設時と業者契約・施主承認時にスポットで監理業務を行う。なお、統括監理補佐は現地に常駐し、調達代理機関契約、銀行手続き・口座開設、現地事務所の設立及び入札図書のうち、業者契約に係る書類の作成並びに入札図書配布と入札・評価・業者契約業務などを行う。ナイジェリア国の建設事情により、入札ロット数が多くなることが予測されるため、現地雇人の契約・資金担当者と事務員を補助員として雇用する。また、入札	調達代理機関は、施工期間中の統括監理を行うが、技術的な監理については本邦コンサルタントが行い、調達代理機関は主に資金管理を行うこととする。そのため、入札手続期間に引き続き首都アブジャに事務所を置き、統括監理者は工事開始時の立会いと竣工検査・事務所閉鎖などの業務を行う。補佐的な業務を主体とする現地雇人として事務員を雇用する。毎月の出来高を含む月報はコンサルタントが調達代理機関の担当へ連絡する。

実施設計期間（入札手続期間）	施工監理期間
図書の内容に係る技術的な質疑回答作業や、入札業者の技術プロポーザル部分・評価を適性に評価する必要があるため、本邦コンサルタントが技術部分の補助を行う。（図 入札時の実施体制 参照）	調達代理機関の決済は日本で行う。 （図 施工管理時の実施体制 参照）

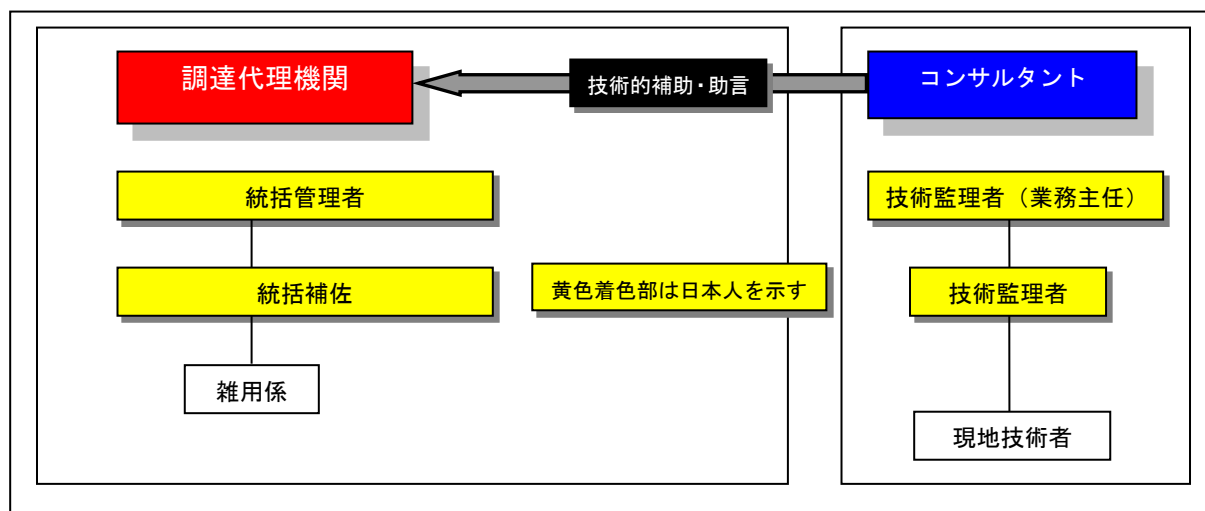


図 3-7 入札時の実施体制

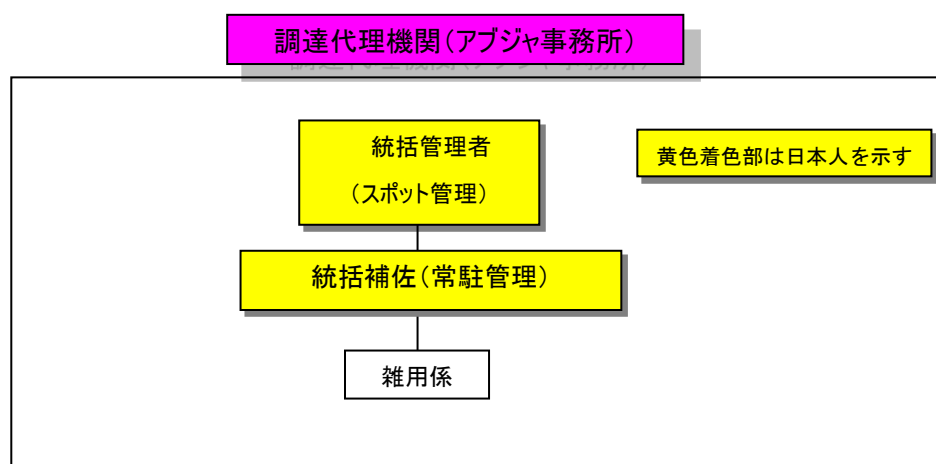


図 3-8 調達代理機関 実施体制

3) 施工監理コンサルタント

① 実施内容

コンサルタントは、施工監理コンサルタントとして調達代理機関が行う入札関連業務の技術的補佐や工事の施工監理を実施する。なお、コンサルタントの施工監理業務は、工事の施工品質・工程・安全などの監理を行うとともに、建設会社が実施した毎月の工事出来高を査定・評価し、その内容を調達代理機関に報告する業務なども行う。

② 実施体制

本計画での施工監理コンサルタントによる各々の業務実施は次のとおりとなる。

実施設計期間（入札手続期間）	施工監理期間
<p>コンサルタントは、調達代理機関が行う入札資格事前審査（PQ）及び入札を含めた入札関連業務の技術的補佐業務を行う。技術監理者（業務主任）と監理技術者は、入札図書作成・承認時と契約・施主承認時の技術的補佐業務として、スポットで業務を行うこととする。また、日本人技術監理者を補佐するため、現地の技術者を雇用し、業務を円滑に行うこととする。なお、質疑応答時には日本人技術者は国内で対応することとし、現地業務は現地技術者が直接対応する体制とする。</p>	<p>現地建設業者の施工能力、技術力は十分とは言えないことから、日本人技術監理者と現地技術監理者を配置することとする。特に、能力の不足する現地建設業者には、完了した工事のチェックを中心とした監理に加え、その前に施工業者に対する施工計画、工程表、施工図等作成指導を含む施工管理指導が必要である。</p> <p>本計画整備対象校 36 サイトは、オヨ州にある 36 地方政府 LGA の内 19 LGA に点在し、時間的にも州都イバダンの中心から近い対象校で約 10 分、最も遠隔地で約 2.5 時間の範囲に位置している。同監理体制として、州都イバダんに監理事務所を置くこととする。施工監理時のサイトへ移動には多くの時間が必要である。</p> <p>以上より、1 人はスポット監理者として統括、報告書まとめ、連絡・調整、施工監理指導兼任とし、2 人の常駐施工監理技術者は方面毎に 18 サイトずつ担当することとする。その補佐として現地主任技術者 3 名、監理技術者 15 名（2～3 サイト毎に 1 名）、積算技術者 1 名、雑用係、運転手を配置し、品質・工程、安全管理などを実施することとする。</p> <p>（次図 施工監理時のコンサルタント実施体制 参照）</p>

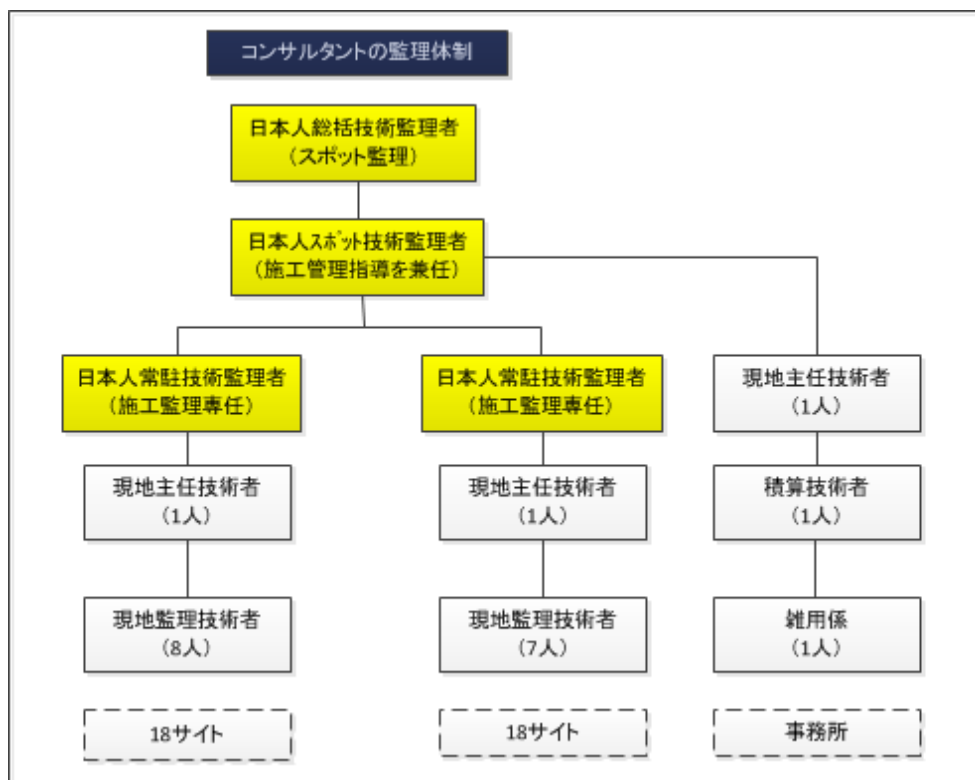


図 3-9 施工監理時のコンサルタント実施体制

3-2-4-2 施工上／調達上の留意事項

(1) 資機材

1) 資材の調達

本計画における主要資材はナイジェリア国内ですべて調達可能である。ただし、セメントはメーカーが生産調整を行う時期があり、その時期は調達が難しくなるので、ある程度のストック確保が必要である。また鉄筋は一般に流通している製品は規準に従った製造の行われていない規格外品なので、購入メーカーを限定する必要がある。鉄骨はナイジェリア国は材料費が高く、製作能力も低いので、海外から製作したものを輸入した方が品質的、価格的に有利となる場合がある。

① セメント

セメントは、民間のセメント製造工場が3ヶ所存在し、その内2つの工場の品質は良い。しかしながら、実施地周辺にはセメント製造工場がないため、オヨ州において一般的に市場に出回っている品質の良い2つの工場で製造された物を調達することとなる。

② 鉄筋

鉄筋については、民間の鉄筋製造工場が3ヶ所存在し、その内2つの工場はインゴットを輸入し異形棒鋼（鉄筋）を製造している。もう1社はカノ州にあり、スクラップから同様の鉄筋を製造している。どちらも品質的に特段の問題はない。オヨ州では、どの製造工場で製造された鉄筋でも一般的に市場に出回っており、そこから調達することとなる。なお、ナイジェリア国で製造される異形棒鋼の径は、8mm、10mm、12mm、14mm までであり、16mm 以上は中国、ウクライナ、インド国などから輸入するか、または輸入されたものを市場から調達することとなる。

③ コンクリート用砂、碎石

ナイジェリア国では、首都・都市部以外での生コンクリートの調達が困難であるため、本計画対象地でのコンクリート工事は、簡易ミキサー（ディーゼルエンジン駆動）での現場練りになる。砂、碎石についてはオヨ州及び近隣地域などで調達が可能であり、砂、碎石とも品質的に特段の問題は無い。なお、砂の使用に際しては、塩分濃度の測定などの事前確認が必要である。

④ 屋根材

屋根材の長尺アルミニウムシートの成型工場は、アブジャ近郊、ラゴス周辺などに存在し、それぞれの工場より直接調達することが可能である。この種の材料は、SUBEB の学校プロトタイプや第一次の小学校建設計画にも使用されており、実績がある材料でもある。

屋根のトラス材に使用される鉄骨材料は、ナイジェリア国において生産されていないため、既に輸入され、市場に出回っているものを調達するか、または、使用される量や使用されるサイズによっては輸入する必要がある。従って、本計画の設計においては、その点を留意する必要がある。なお、鉄骨の加工・組立工場はラゴス市内に存在している。

⑤ 建具

鋼製扉や窓については、オヨ州やラゴスの業者から調達が可能である。

2) 資材運搬・搬入時期

4月から10月が雨期であり、例年6月、9月は最も雨量の多い時期であるため、あらかじめ、この時期を想定して事前の資機材搬入計画を作成し、工程に支障のないようにする。

3) 建設資材の現場での保管

建設現場は集落の一部に位置しているため、また、既存校内で工事を実施することから工事関係者以外の立ち入りを制限する仮設フェンス等の設置は必要である。また、保安や盗難防止の観点からも第三者の立ち入りを制限することが必要である。なお、セメント、骨材、鉄筋、型枠材などの資機材の搬入計画に留意すると共に浸水を避ける高さの建設資機材保管場所を確保する必要がある。

(2) 労務

熟練工の確保は、オヨ州のみでは難しい。アブジャやラゴスから熟練工を調達する必要がある。確保できた熟練工の数に応じ工程計画を立案する必要がある。

(3) 入札手続き

1) ナイジェリア国の公共事業発注形態

① 入札と工事契約手続き

ナイジェリア国での公共事業の公示、入札、契約手続きは、各機関・省庁・各州のそれぞれが持つ入札規則に従い実施されており、ナイジェリア国政府による特別の規則・規定はない。

オヨ SUBEB の入札は新聞2紙に公示し、会社登録、税金納入登録等の資格要件を満たす建設会社の一般競争入札で行っている。入札期間は一般に1棟単位なので20日間のみである。年によって上限価格が決まっており、落札価格はほとんど差がない。

このため、本計画での入札業務は、UBEC、SUBEB が発注している案件例や各国際援助機関が実施している公示方法、入札方法、契約手続きなどを考慮し、また、近年のコミュニティ開発無償資金協力事業での入札業務例を参考にしながら係る入札、契約手続きを行うこととする。

② 契約方式について

ナイジェリア国における主な工事契約方法は、工事数量による BQ 契約方式や一括請負契約方式（ランプサム方式）で行われているが、本計画では、一括請負契約方式を採用することとする。なお、契約通貨については、現地貨払い契約と外貨払い契約（アメリカドル USD 契約）が考えられるが、為替の変動等のリスクを考慮し契約通貨を USD とする。

2) 建設業者選定

本計画での建設業者選定のフローは次のとおりとなる。

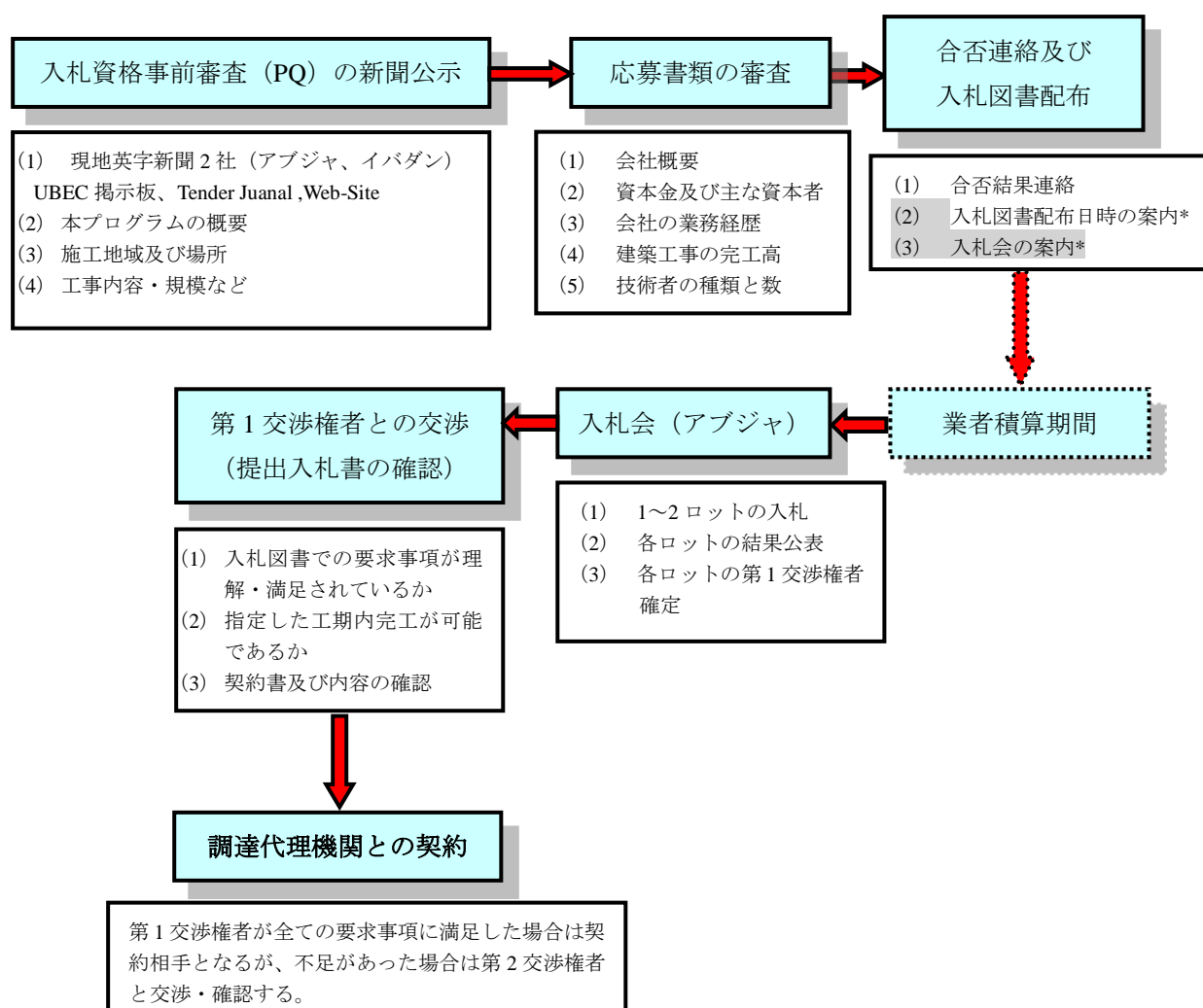


図 3-10 建設業者選定フロー

3) 入札の方法

入札は、ナイジェリア国建設業登録業者及び本邦業者を対象とした一般競争入札とし、新聞及び調達代理機関のインターネットサイトで公示を行う。

ロット分けは、多くの業者に分散して発注した場合、資金力の脆弱な業者や、施工能力の低い業者が落札する可能性が出てくるので、十分な実績と施工管理能力を保有する建設会社に厳選して施工に当たらすべく、2 ロット程度とする。まず入札資格事前審査 (PQ) を行い、財務能力、類似工事实績、技術力、有能な技術者の保有数を重点に審査を行い、入札業者の選別を行う。

入札審査においては、工程管理能力は品質管理能力を重視し、技術審査を行う。

3-2-4-3 施工区分／調達・据付区分

本計画は、我が国の無償資金協力事業として、実施における日本側が負担するものと、ナイジェリア国側の実施機関が負担するものの区分は次表のとおりである。（この表の内容は2013年10月フィールドレポート及び2013年10月10日署名テクニカルノートでUBEC/SUBEBに確認）

表 3-13 負担区分

No.	項目	日本	ナイジェリア国
1	建設予定地の用意		
(1)	建設予定地の確保		●
(2)	建設予定地の支障物撤去、整地工事		●
(3)	建設中資材置き場確保		●
(4)	建設予定地の既存教室の解体・撤去		●
2	建設工事	●	
	恒久的フェンス・ゲート		●
	仮設フェンス・ゲート	●	
3	家具		
	a. 机・椅子（教員・生徒用）、黒板、掲示板	●	
	b. その他の一般家具		●
4	セキュリティ		
	1) 工事中のセキュリティ		●
	2) 完成後のセキュリティと維持管理		●
5	学校施設の用意・改善		
	1) 教材の準備		●
	2) 教職員の用意		●
	3) 継続使用の既存教室の補修		●

●：当該項目の責任所掌を示す。

ナイジェリア国側の既存残基礎、樹木などの支障物撤去を含む建設予定地の確保は、2014年9月までに実施する。最終的には、建設工事实施（2015年1月予定）以前にナイジェリア国側工事が完了していなければならない。

3-2-4-4 施工監理計画/調達監理計画

(1) 施工監理基本方針

監理コンサルタントは、契約書に示された品質、工事が所定の工期内に完成するよう工事内容及び資機材調達の進捗確認や調達代理機関に報告する毎月の工事の出来形・高の確認を行うとともに、現場での工事が安全に実施されるように建設会社の作業を監理・監督・指導する必要がある。

ナイジェリア国における、施工監理は、品質管（監）理基準が確立しておらず、管理基準書や施工管理要領書なども整備されていない。コンクリート圧縮強度試験、鉄筋の引っ張り強度試験などの試験施設は、各LGAでは皆無に等しいため、オヨ州公共事業局などの所定の施設で行う必要がある。また、現場における建設業者への技術指導も重要な課題である。さらに、可能な範囲で、現場レベルの講習会などを実施し、我が国規準における品質管理規準を基本とし

た管理基準の整備・技術移転を実施することも必要である。

(2) 品質管理

本計画では、ナイジェリア国で一般的に採用されている工法、仕様及び資機材で計画しているため、以下の内容・項目に基づき品質管理を実施する。

1) 建設工事施工図及び使用資材仕様書の照査

建設工事に先立ち、係る工事の施工図提出を契約業者に義務付け、その内容を確認する。また、現場搬入する資材の仕様書及び購入証明書の提出を求め確実な品質確保を実施する。

2) 生産工場や組み立て工場の立ち会い検査

資機材の製造・生産現場への立会い又は検査結果の照査や調達する建設資材は、必要に応じて、生産工場や組み立て工場の立ち会い検査を実施し、素材の品質確認及び製品検査証明などの照査を行う。

3) 出来形・仕上り状況の管理・確認

建設現場では、工事段階時に技術指導及び立ち会い検査を行い、不具合な箇所は徹底した手直しを指示・実施する。また、出来形検査では、施工図との照合を実施する。

4) 検査記録

現地で雇用するコンサルタントには監理要領書を指導し、施工段階に応じて各部材・工事ごとの検査記録を義務付け、効率的で確実な監理を実現する。主な品質管理項目を下表 2-11 に示す。

表 3-14 主な品質管理計画

工事名	管理項目	試験(検査)方法	試験頻度
地業工事	地耐力	ポータブル簡易貫入試験	現場毎 1 ヲ所
土工事	締め固め度	目視検査	基礎底面全箇所
	搬入土質検査（必要に応じて）	粒度試験	土取場 1 箇所
型枠工事	出来形	寸法検査・写真	全部材
	材料検査	板厚・材質・変形	全部材
	組立検査	目視（隙間・補強材・スパーサー）	全部材
鉄筋工事	引張強度	引張強度試験	サイズ毎 1 回
	品質全般	ミルシート	サイズ毎 1 回
	配筋検査	本数・径・鉄筋間隔・継ぎ手長さ・定着長さ・被り厚さ	コンクリート打設前・全箇所
コンクリート工事	骨材粒度	振り分け試験	1 回
	試験練り	配合、水セメント比、圧縮強度、スランプ・塩分濃度試験	契約ロット単位で 1 回実施
	圧縮強度	圧縮強度試験	打設部位毎 1 回（3 本）
	スランプ	スランプ試験	打設日毎 1 回
	塩化物量	カンタブ試験	打設毎

工事名	管理項目	試験(検査)方法	試験頻度
鉄骨工事	鋼材・ボルト	ミルシート	種類毎 1 回
	製作試験	計測及び目視	全部材
	建入精度	計測	トラス毎
組積工事	レンガ品質	工場検査	1 回
建具工事	建具品質	目視、計測	搬入時
家具備品	家具品質	目視、計測	搬入時

(3) 工程管理

建設業者が契約書に示された納期を守るために、契約時に計画した実施工程と、その実際の進捗状況との比較を毎月行い、工程遅延が予測される時は、建設業者に対し注意を促すと共に、その対策案の提出と実施を求め、必要に応じた資材の現場内搬入、工期内に工事が完了する様に指導を行う。計画工程と進捗工程の比較は主として以下の項目による。

- ① 工事出来高確認（建設資材調達状況及び工事進捗状況）
- ② 資機材搬入実績確認（建設資機材及び備品）
- ③ 仮設工事及び建設機械準備状況の確認（必要に応じて）
- ④ 技術者、技能工、労務者等の人数の確認

(4) 安全管理

建設現場作業に精通していない現地雇用労働者への安全管理意識を高め、安全管理体制を確立する必要がある。

以下にその内容を具体的に示す。

- 1) 各サイトとも、携帯電話を現地現場管理者に携帯させ、日本人関係者及びナイジェリア国関係者、病院や警察などを網羅した緊急連絡網を整備し、関係者に周知徹底する。
- 2) 朝礼を励行し、作業開始前に当日の作業内容の確認や安全訓示を必ず行う。
- 3) 作業開始前・終了時には、現場の見回りを徹底し、作業足場、支保工、手摺りなど安全な作業環境にあることを確認する。
- 4) 悪天候の場合は、搬入路が悪化しスリップ、転落・転倒などの原因となることから、常に、アクセス部分の点検を行い、良好な状態を確保する。
- 5) 対象校では、現場内に既設の小学校があるため、授業と並行して工事が実施されることから、学校関係者と工事区域の動線分離を明確にするため、仮設のフェンス等を設置する。
- 6) 好奇心の旺盛な生徒が多いことから、警備員を要所に配置し、現場への侵入を制限する。
- 7) 現場事務所には、応急手当のための救急箱を常備する。

3-2-4-5 品質管理計画

上記、3-2-4-4 施工監理計画 (2)品質管理 で記述した方法で品質管理を行い、設計図書どおりの品質が確保されるようにする。

3-2-4-6 資機材等調達計画

(1) 資機材等調達

本計画の実施で必要な資機材調達は工事契約に含めるため、調達代理機関と建設業者との契約に基づき調達が行われる。施設建設には、建築構造物及び家具類調達・設置が含まれるが、本調査の結果、必要な資機材は全て現地の市場にて調達が可能である。

次表に本計画の資機材調達先を示す。

表 3-15 資機材等調達先

項 目	原産国			備 考
	現地	日本	第三国	
[資材]				
ポルトランドセメント	○			
コンクリート用骨材	○			
鉄筋	○			16mm 以上インド、ウクライナ、中国より
コンクリートブロック	○			
木材・型枠材	○			
一般鋼材、鉄骨	○			中国、インド、ウクライナ等より
鋼製建具	○			
塗料	○			
長尺アルミシート	○			
家具	○			
アスファルトルーフィング	○			
ガラス	○			

表 3-16 主要建設資材の国内調達先

項目	調達先			備考
	ナイジェリア国内			
	ラゴス	オヨ	その他	
セメント	○	○		
鉄筋	○	△		規格外品が多い
コンクリートブロック	○	○		特注の必要あり
型枠材	○	○		
鉄骨	○	△		海外から輸入のケースもある
アルミ長尺シート	○	○		
塗料	○	○		
鋼製建具	○	△	カドゥナ州*	

○：調達可能である。 △：品質に問題がある。 *：品質が確かである会社が存在する

(2) 免税続き

免税手続きは、従来通り下図のとおりである。手続きに時間を要し、UBEC によると、業者に対し UBEC が還付金を一時立て替えることもあるとのことである。

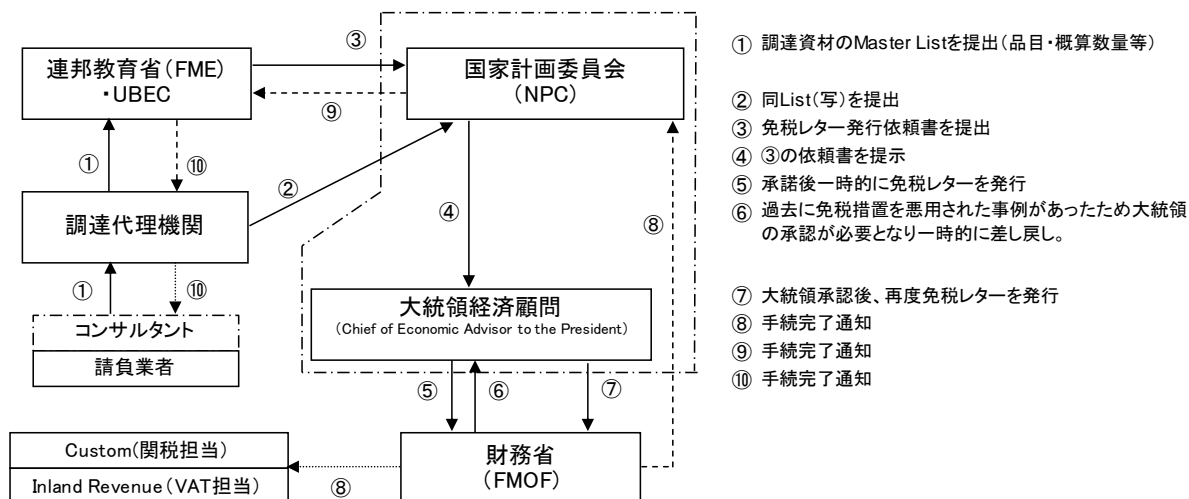


図 3-11 免税措置に係る申請・承認手順

3-2-4-7 ソフトコンポーネント計画

(1) ソフトコンポーネントの背景

調査を行った 44 校の中には、一部、屋根や机・椅子の補修活動があったが、ほとんどの学校では、壊れたまま放置されているのが現状である。北部の学校と比較すると清掃活動を実施していることが認められるが、まだ十分ではない。

学校運営者、LGEA、教員、保護者との面談を通して、概して現地の人たちは、学校校舎を含めた建築物は 10 年程度で使えなくなるものと認識している。そのような意識のまま、日常の清掃・維持管理活動の重要性について助言・指導せずに教室を増築すると、本来の建物の耐久年数を待たず建設整備した施設は早期に破損、劣化する可能性は高い。また、学校にこれまで便所がなかったため、便所ピットの汚泥処理などに適宜な実施が必要であることを助言・指導する必要がある。さらに、学校施設の維持管理に必要な予算を十分に確保できないナイジェリア国においては、校長・教員、コミュニティ、PTA 等から成る SBMC の参画・支援が学校施設の維持管理活動には必要不可欠である。

FME、UBEC、SUBEB は、いずれも、このような維持管理の重要性を認識しており、ソフトコンポーネントが必要であるとの意見である。

(2) ソフトコンポーネントの目標

コミュニティ開発支援無償資金協力にて建設されたオヨ州の小学校施設の持続性を確保し維持管理が向上することをソフトコンポーネントの目標とする。

そのために以下の活動を行う。

- a) 校舎・教室に関する維持管理ガイドライン・マニュアルの整備
- b) モデル校での維持管理活動の実践（4校）
- c) 維持管理ワークショップのモデル校4校での開催（オヨ州教育委員会 SUBEB、地方教育委員会 LGEA 参加）
- d) オヨ州教育委員会 SUBEB と地方教育委員会 LGEA が整備されたマニュアルをモニタリング及び指導活動のツールとして使用できるよう助言・指導

(3) ソフトコンポーネントの成果

ソフトコンポーネントの成果を以下のように設定する。

- a) ワークショップによって現状の維持管理の問題が議論、認識され、改善方法が検討される。
- b) 上記活動に基づいて、維持管理マニュアル、モニタリングマニュアルが作成され、SUBEB/LGEA で周知される。
- c) 対象校で維持管理マニュアルの内容が理解され、マニュアルに従って維持管理活動が実施される。
- d) 維持管理マニュアル、モニタリングマニュアルに基づいて、対象校以外のオヨ州の小学校に維持管理強化の指導がなされる。
- e) LGEA、校長・教員に学校運営・維持管理のオーナーシップ意識が醸成される。

(4) 成果達成度の確認方法

- ・ モニタリング・マニュアルに従って、SUBEB/LGEAが定期的に清掃・維持管理状況のモニタリングを行う。
- ・ 直接の受益者である生徒に対するアンケート調査を行う。
- ・ 校長、教員、コミュニティリーダーに対する面談調査を行う。

(5) ソフトコンポーネントの活動（投入計画）

1) ドラフト実施ガイドラインの作成

過去実施の実施ガイドラインを参考にオヨ州の実情に合ったドラフト実施ガイドラインをコンサルタントが作成する。

<実施ガイドラインの内容>

1. 背景 Background of the Soft Component
2. 目的 Purpose of the Soft Component
3. 成果 Outputs of the Soft Component
4. 評価 Evaluation of Outputs Achieved
5. 活動 Activities (Inputs) of The Soft Component
6. 活動資源 Soft Component Implementation Resources
7. 実施スケジュール Soft Component Implementation Schedule
8. 成果品 Items of Output
9. ナイジェリア国側責務 Responsibility of The Nigerian Side

2) 現地側カウンターパート機関への説明

コンサルタントは、上記ガイドラインを用いて UBEC、SUBEB に対してソフトコンポーネントの目標、目的、実施内容、活動スケジュールについて説明を行う。理解を徹底させるとともに、学校施設維持管理活動に対するオーナーシップ意識を促す。また、実施ガイドラインを策定する。

3) 現地タスクフォースの設置

計画・研究・統計部長、同副部長、JICA 担当係、モデル校を所管する LGEA 代表者、視学官等の 5～6 名で構成するタスクフォースを SUBEB 内の計画・研究・統計部内に設置する。なお、学校の維持管理に果たす役割の大きい SBMC は SUBEB の社会動員・ICT 部 (Dept. of Social Mobilization & Information Communication Technology) が支援しており、ソフトコンポーネントの活動には社会動員・ICT 部にも協力を依頼する。

4) モデル校の決定およびオリエンテーション

対象校を 4 ブロックに分け、その中から維持管理活動を行うモデル校を選定する。

5) 小学校の維持管理マニュアル作成

- ・ 現地タスクフォース及びモデル校の校長、コミュニティリーダーと協議を行い、彼ら自身の問題意識を啓発しながらモデル校の完成後にどのように学校施設の維持管理の改善を行っていくかについて検討・分析する。
- ・ コンサルタント側が用意するマニュアル雛形に基づき、オーナーシップ意識の醸成に資するため、現地タスクフォースが現地側のアイデアを付加し自らマニュアルを修正する参加型方式とする。
- ・ 生徒が、学校の維持管理マニュアル及び個々の維持管理活動について容易に理解できるような、絵解きポスターを作成する。
- ・ コンサルタント側は、現地側が作成した案にコメントを加え、指導する。

<維持管理マニュアルの内容>

1. 序文 Introduction
 - 1-1 概要 Outline of the Project
 - 1-2 マニュアルの背景 Background of this Manual
 - 1-3 目的 Objective of this Manual
2. 維持管理・管理活動 Building and Facilities Maintenance Control Activities
 - 2-1 タスクフォースの責務 Duties of Local Task Force
 - 2-2 施設 Building
3. 健康・衛生・環境管理活動 Health, Sanitation and Environment Control Activity
 - 3-1 タスクフォースの責務 Duties of Local Task Force
 - 3-2 清掃 Cleaning Activities
 - 3-3 トイレ管理 Sewage Treatment

- 3-4 廃棄物処理 Garbage Treatment
- 3-5 グッドプラクティス General Good Practice
- 3-6 SBMCとの協力 Instructions to SBMC Members
- 4. 財務及びモニタリング管理 Financing, Monitoring and Controlling the Maintenance
- 4-1 タスクフォースの責務 Duties of Local Task Force
- 4-2 概算維持管理費 Estimated maintenance cost of the classrooms and toilets
- 4-3 費用確保 Fund Raising
- 4-4 予算と預金 Budgeting and Deposit
- 4-5 モニタリングと記録方法 Monitoring and Record Keeping
- 4-6 計画と報告書作成 Planning and Reporting

6) 施設維持管理モニタリングマニュアル作成

- SUBEB の自助努力を引き出しながら、計画対象校の維持管理活動のモニタリングのためのマニュアルを作成する。
- モニタリングマニュアルの雛形はコンサルタントが前回協力での作成分を見直し・作成する。
- コンサルタントは修正モニタリングマニュアルを基に、現地タスクフォースと協議し、現地側のイニシアティブを引き出しながら、現地タスクフォースが維持管理マニュアルを確認・作成するのを支援する。コンサルタントはマニュアルに評価を加え、コメントし、フィードバックを行い、現地タスクフォースがモニタリングマニュアルを完成させる。
- 各校は、施設の維持管理の状況を上記モニタリングマニュアルに基づき、LGEA 視学官を通じて年に一度SUBEBに報告する。SUBEB は各学校の維持管理報告書の全体取りまとめを行い、UBECに報告し、UBECは年に一度JICA ナイジェリア事務所に報告する。

<モニタリングマニュアルの内容>

- 1. SUBEBとLGEAの責務 Responsibilities of SUBEB and LGEA
- 2. インспекションシート Inspection Sheets (3 Sheets)
 - Sheet 1 for inspecting classroom facilities including furniture and fixture
 - Sheet 2 for inspecting toilet and facilities
 - Sheet 3 for inspecting state of cleanliness, sanitation and management
- 3. 評価シート Evaluation Sheet
- 4. SUBEBモニタリングシート Monitoring Sheets (3 Sheets) for SUBEB

7) 学校施設の維持管理ワークショップの準備・実施・まとめ

- 主催者はSUBEB の現地ファシリテーター、協力モデレーターはその他タスクフォースメンバーとなり、日本人コンサルタントは全体の監督・指導を行う。
- ワークショップにおけるトレーニングメニュー、必要な教材・資機材、スケジュール、

役割分担はタスクフォースとの協議により決定する。

- ・ モデル校の維持管理活動内容を計画対象校の全校に普及させるため、モデル校の周辺に立地する協力対象校の校長及びコミュニティリーダーをモデル校に招く。
- ・ 各校の校長、コミュニティリーダーは、モデル校における維持管理活動の実践を視察し、トレーニングを受け、意見交換会を行う。
- ・ ワークショップ実施後、現地タスクフォースと反省会を行い、ワークショップ・レポートを作成する。

8) モデル校における維持管理活動の実践

教員、生徒及びSBMCは、上記の維持管理マニュアルに基づき、学校改善につなげるための率先した維持管理活動を実践する。

これら実践により、以下のような効果が期待される。

- ① 生徒が、教室、机・椅子等の学校施設は、自分たちのため、また、今後入学してくる後輩のために大事に使用すべき物であることを認識するとともに、自ら学校施設を清掃する習慣が身につく。
- ② SUBEB 及び LGEA が建設後の施設維持管理状況をモニタリングし、定期的に改善を指導する体制が形成される。
- ③ 便所ピットの汚泥処理、施設の維持管理等について、必要な技術と知識が得られ技術の普及が図られる。特にトイレをきれいに使う、清掃を行う、汚物ピットを処理するなどの維持管理について、徹底した指導により、技術の定着がなされる。
- ④ 学校側には維持管理マニュアルが整備され、SUBEB、LGEA には維持管理指導モニタリングマニュアルが整備され、双方の維持管理体制が強化される。

(6) ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法

日本人コンサルタント：本ソフトコンポーネント全体の監督・指導を担当し、「ソフトコンポーネント完了報告書」をJICAに提出する。

UBEC：ソフトコンポーネント実施に協力する現地タスクフォースを設置する。対象校36校への連絡、召集、指導等の責任者となる。

SUBEB：施設の維持管理問題のオヨ州における責任者となる。モデル校でのオリエンテーション、ワークショップを主催し、学校間の連絡、召集、指導等を実施する。

LGEA 視学官：各学校の維持管理をSBMCとともにモニタリングする。

小学校（校長、教員）：施設の維持管理問題の各学校における責任者として、SBMCおよびLGEAの活動に協力する。

現地タスクフォース：SUBEBの計画・研究・統計研究部が中心となり、SUBEB 計画・研究・統計研究部のスタッフ、モデル校のLGEA 責任者、視学官で構成される。コンサルタントとの打ち合わせにより、小学校の維持管理マニュアルをワークショップ開催に先立ち自助努力的に作成し、このソフトコンポーネント実施の終盤にSUBEB の施設維持管理モニタリングマニュアルを自助努力的に作成する。ソフトコンポーネント実施後は、施設維持管理状況をモニターし、維持管理状況の年次報告書の取りまとめを年に一度JICA ナイ

ジェリア事務所に報告する。

ファシリテーター：オリエンテーション、ワークショップ実施時にこの現地タスクフォースの中から任命され、SUBEB、LGEA 等の行政側関係者並びに校長・教員、生徒、SBMC 等の学校関係者の理解がスムーズに行われるように努めるものとする。

School Based Management Committee (SBMC)：SBMCは、地域における多様な学校関係者を学校とコミュニティの懸け橋となるものとして組織したものである。オヨ州ではSUBEB 社会動員・ICT部 (Social Mobilization & Information Communication Technology)が支援し、LGEAと密接な連携の下に学校の維持管理モニタリングを実施する。

これらの関係者の能力向上を促進し、また、施設建設・供用開始後のモニター、指導監督体制を強化することは、計画施設が持続的に維持管理されるために大変重要である。

(7) ソフトコンポーネントの実施工程

ソフトコンポーネントは、施設建設の後半に SUBEB タスクフォースを設置し、完工直前または供用開始時にその他活動を実施し、以下の実施工程とする。

年	2015												2016		
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
建築工事															
ソフトコンポーネント													準備期間		

図 3-12 ソフトコンポーネント実施工程

(8) ソフトコンポーネントの成果品、作成担当者

ソフトコンポーネントの成果品は以下のとおりとする（カッコ内作成者）。

- ・ソフトコンポーネント実施ガイドライン（コンサルタント、UBEC、SUBEB）
- ・施設維持管理マニュアル（コンサルタント原案作成、SUBEB、各学校）
- ・施設維持管理指導モニタリングマニュアル（コンサルタント原案作成、SUBEB）

(9) 相手国側の責務

SUBEB は現地タスクフォースを組織し、ソフトコンポーネント計画に従って維持管理を実施する。そのための要員、予算を確保する。SUBEB と現地のタスクフォースはソフトコンポーネント計画に従ってモニタリングを実施し、学校年度の最終月（8 月）に合同戦略会議を開催する。

3-2-4-8 実施工程

本計画の E/N 後の実施工程は、次表のとおり入札関連業務工程 4.5 ヶ月、施工・調達工程 14 ヶ月とする。

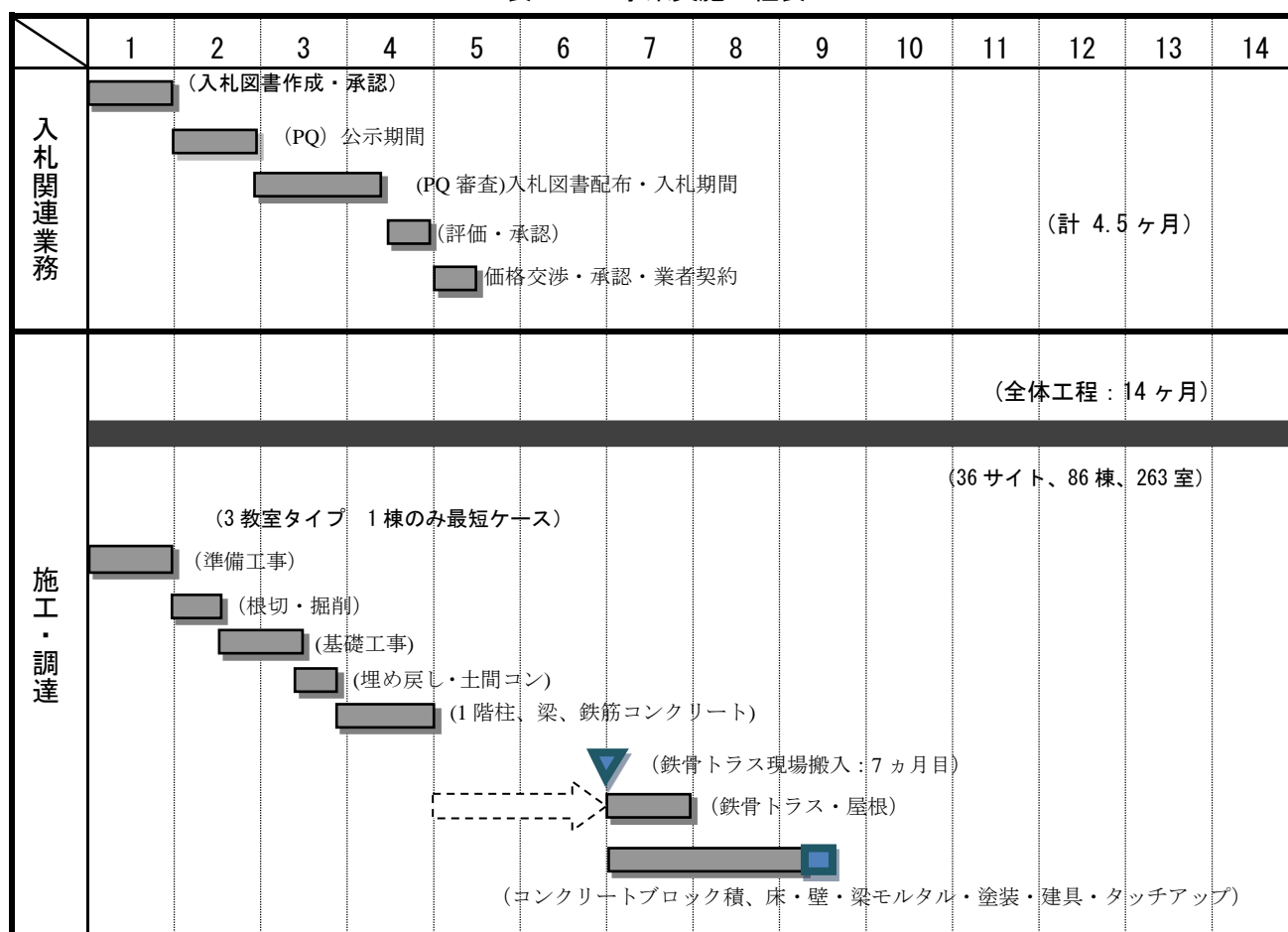
調達代理機関が実施する入札関連業務は、次の 4.5 ヶ月が必要である。

- ① 入札図書作成・承認 1.0 ヶ月

- | | | |
|---|---------------------|--------|
| ② | (PQ) 公示期間 | 1.0 ヶ月 |
| ③ | (PQ 審査) 入札図書配布・入札期間 | 1.5 ヶ月 |
| ④ | 入札審査・承認 | 0.5 ヶ月 |
| ⑤ | 契約交渉・承認・業者契約 | 0.5 ヶ月 |

工事工程は、現地建設会社の施工管理能力、資機材の現場搬入、労働者の作業能力、5 月から 10 月までの雨期などを考慮すると 14 ヶ月間が必要である。工期 14 ヶ月の根拠としては、本計画の対象校の中で、クリティカルとなる最も大きな対象校 1 校の規模は教室数が 19 室（18 教室＋1 教員室）であり、プロトタイプの教室を組み合わせると 4 教室タイプを 1 棟、3 教室タイプが 5 棟になる。建設業者の能力や手持ちの労務や資機材、さらに、型枠などの転用の経済的な観点から 6 棟同時着工は困難であると想定できる。従って本計画では、それぞれ 2 ヶ月間の間隔を置いて 1 棟ずつ着工することを計画する。また、1 棟の工期は、3 教室タイプ、4 教室タイプ、に拘わらず 6 ヶ月とする。ただし、建設の工程が雨期に関わる場合においては、8 ヶ月とする。また、2015 年 2 月頃に大統領選挙があり、不穏な状況となり、外出禁止令が出ることもあって、工事に支障をきたす。下表に本計画での事業実施工程を示す。

表 3-17 事業実施工程表



(1) 工程計画の留意点

1) 既設建築物撤去等

本計画での対象校において既設建築物撤去が必要な学校が 2 サイトあり、幾つかの対象校においては、建設予定地内の支障物の撤去が必要である。しかし、多くの学校での地形も平坦であり、大きな問題はない。また、建設作業に必要なスペースが確保できない敷地があるので、近隣に作業スペースを借りる、生徒の安全と工事動線を確保するなどの調整を SUBEB/LGEA 及び学校側とする必要がある。

2) 準備期間

建設資機材や労務調達、及び工程計画・施工図作成に要する期間、並びに、資機材の保管倉庫、労務者用詰所、宿舍及び工事事務所の設置期間、並びに、現場や近隣状況の確認に必要な期間を準備期間として考慮した。これには手待ちも考慮し各サイト 1 ヶ月以上を要する。

3) 地業・基礎、1 階の土間工事

基礎工事は、掘削、砕石基礎、均しコンクリート、基礎の鉄筋配筋・型枠・コンクリートの打設・養生、埋め戻し、盛土、1 階の土間工事である鉄筋・型枠・コンクリートの打設と続き、地業工事から土間工事までの工事期間は、手待ちも考慮し各サイト平均約 4 ヶ月要すると想定される。

4) 1 階の柱、梁の躯体工事

1 階の柱、梁、と順次工事を進め、手待ちも考慮し各サイト平均約 2.5 ヶ月の工事期間である。鉄骨トラス止めのアンカーボルトを設置するので、レベル、位置出しが重要となる。

5) 屋根鉄骨トラス組、屋根仕上げ工事

上記 4) の工程、及び鉄骨トラス製作・搬入が終わり次第、鉄骨トラスを組み立て、その上に合板+アスファルトルーフィング+長尺アルミシート (0.55mm) 敷設などの工程で手待ちも考慮し各サイト平均約 3 ヶ月の工事期間を要する。鉄骨の架設については、重量物となるため、クレーンなどによる架設が想定され、安全作業を配慮する必要がある。

6) コンクリートブロック積み、床、壁、梁のモルタル塗り、塗装工事などの仕上工事

現地で生産・製造されているコンクリートブロックは、調査・確認の結果、強度・品質などに問題がある。このため、現場内での自前製作や現地製造者の製作時の品質管理指導などを行う必要がある。また、モルタルの配合比についても、現地で一般的な配合比は貧配合で、品質にばらつきがあり、事前の施工計画書及び配合計画の提出を求めその確認を行う必要がある。同工事工程・期間は手待ちも考慮し各サイト平均約 5 ヶ月程度必要である。

(2) その他留意事項

ナイジェリア国の祝祭日・政府休日は年間約 17 日間であり、宗教上に係わる休日は工程計画に上考慮することとする。クリスマス休暇など、実質休日は長くなる。また、2015 年前半に大統領

領選挙が予定されており、その前後 1 ヶ月は警戒が必要である。

3-3 相手国側分担事業の概要

E/N 締結後、ナイジェリア国側は責任機関及び各実施機関の協力の下、以下の作業を負担する。

(1) 一般事項

- (1) E/N 締結後、速やかに我が国の銀行に口座を開設する。なお、同口座開設に伴う費用はナイジェリア国側負担となる。
- (2) 輸入が必要な場合は、迅速な荷揚げの確保及び免税措置を行う。
- (3) 本計画の関係者（日本人および第三人）に対し、ナイジェリア国への入国、滞在及び安全に必要な便宜を図る。
- (4) 本計画に関連する役務、資機材調達及び日本人に対し、ナイジェリア国で課せられる関税・国内税等の免税措置／負担を行う。
- (5) 我が国の無償資金協力で建設された施設を適切に運用し、且つ、確実な維持管理を継続する。
- (6) 我が国の無償資金協力に含まれていない費用で、本計画に必要な他の全ての費用を負担する。

(2) 特記事項

- (1) 本計画での工事に必要な資材置場／仮設用地を契約業者が必要とした場合は、相応の用地・敷地を無償で提供する。
- (2) 本計画の工事で発生する土砂や建設廃棄物の処分場又は処理場を無償で提供する。
- (3) 本計画は、既存校への教室棟増設という点から、環境影響評価については不要と考えられる。
- (4) 土地所有者や関連機関への許認可が必要な場合は、これを申請・取得する。基本的に、本計画でのナイジェリア国における建築許可申請は不要である。

3-4 運営・維持管理計画

供用開始後、「ナ」国連邦教育省 UBEC 事務局の指導の下、実際の監督・モニタリングは、オヨ州 SUBEB が所管する。オヨ州 SUBEB は、整備対象校の立地する LGEA との連携のもと、学校の監督・モニタリングを行う。

初等教育の予算に関しては、FME、SUBEB、LGEA の 3 者が責任を持つが、連邦からの配布予算に大きく依存している。学校建設・補修・修理などの予算は ① UBEC と SUBEB、② ETF、③ 州政府予算、④ 地方政府 (LGA) の 4 つがある。大規模な学校 補修・修理の発注・監理は SUBEB が行い、総合的な管理・監督は UBEC が実施している。小規模な補修、改善、維持管理は、LGA や SBMC・コミュニティの協力で行われている。本計画は、UBEC 重点プロジェクトであり、必要な維持管理予算は優先的に考慮されるので問題はない。

SUBEB は、1 クラス 30～35 人を目標して教員を配置 しており、都市部では 1 クラスの生徒数が多いが、地方部では少人数のクラスを実施している。教室数は不足しているので、1 教室に 2 クラスが入るケースが多く、多くの学校で見られる。

対象 36 校では、校長、副校長を含め、小学校教員総数は 735 人である。生徒数 40 人に対し教員 1 人、これに校長 1 人を加えた所要教員数は 710 人となる。学校によっては、教員数に余裕があり、この移転配置を可能とすると、必要教員数は融通 できる。(表 3-18 参照)

特に都市部で教職員配置の増加があるが、対象校の生徒数は州全体に対し 2.5% であり、今後も SUBEB における教員配置・運営、予算は問題ないと考えられる。

表 3-18 対象校の教員数

番号	調査番号	優先順位	学校名	生徒数 (2013)	現状 校長数	現状 副校長数	現状 一般教員数	教員 数合計	計画 教室数	所要 教員数	必要追加 教員数
1	1	1	RATIBI MOSLEM PRIMARY SCHL ODINJO	880	1	3	18	22	6	23	1
2	2	2	ST.LUKE DEMONSTRATION SCHL MOLETE IBADAAN	932	1	3	16	20	12	24	4
3	3	3	ST. LEO'S CATHOLIC SCHOOL	1,246	1	3	23	27	9	32	5
4	4	4	I.M.G. PRIMARY SCHL, OLUBADAN	960	1	3	29	33	18	25	-8
5	14	5	ONISAPA C.P.S I	1,015	1	3	14	18	12	26	8
6	8	6	LA DEM. PRY. SCH.	379	1	2	20	23	6	10	-13
7	20	7	I.D.C. BASIC SCH. AKOBO	762	1	3	16	20	9	20	0
8	24	8	ISLAMIC MISSION SCH. MONIYA	1,049	1	3	28	32	6	27	-5
9	21	9	ST. AUGUSTINE R.C.M. AKINSAWE	589	1	1	4	6	9	16	10
10	25	10	ST. PHILIPS PRY. SCH, FASOLA	585	1	1	8	10	6	16	6
11	32	11	CHRISTCHURCH SCH. I AKINFENWA	820	1	4	20	25	6	22	-3
12	37	12	ABADINA PRY. SCH. U.I	714	1	3	28	32	9	19	-13
13	11	13	ST. MARY'S (RCM) PRY. SCH. I	590	1	2	17	20	4	16	-4
14	17	14	BAPTIST PRY. SCH.I IGBOORA	1,022	1	2	15	18	9	27	9
15	42	17	COMM. PRY. SCH. I - IV AYEKALE IBADAN	642	1	2	19	22	9	17	-5
16	9	18	METHODIST PRY. SCH. AGO - IJIO	338	1	3	15	19	3	9	-10
17	16	19	METHODIST SCHOOL III	665	1	2	10	13	9	18	5
18	7	20	COMM, PRY, SCHL, OLUODE	964	1	5	20	26	6	25	-1
19	23	21	EBENEZER ANGLICAN SCH.	923	1	3	12	16	12	24	8
20	39	22	BAPTIST PRY. SCH. MAYA LANLATE	420	1	2	11	14	7	12	-2
21	44	23	ST. ANNE'S CATHOLIC SCHOOL	349	1	1	6	8	3	10	2
22	35	24	BAPTIST BASIC SCH. IPASA	208	1	1	3	5	3	6	1
23	31	26	LA PRY. SCH. OKELOLA (SCH-3)	250	1	3	20	24	3	7	-17
24	27	27	ST. MICHEAL ANG. RCM, ARAROMI	1,791	1	3	30	34	9	46	12
25	34	30	COMM. BASIC SCH. KEEWO	112	1	1	4	6	3	4	-2
26	6	31	ST. PETER'S PRY. SCH. APETE	1,246	1	8	40	49	9	32	-17
27	10	32	ARMY CHILDREN PRY. SCH.	340	1	2	19	22	3	10	-12
28	41	34	ISLAMIC MISSION PRY. SCH. I & II AGUGU	589	1	3	13	17	7	16	-1
29	33	35	C.P.S I AYEPE	601	1	3	13	17	12	16	-1
30	29	36	BAPTIST PRY SCHL II, OTAMOKUN	617	1	1	8	10	6	16	6
31	26	37	COMM, PRY, SCHL, OGUNKEYE	380	1	0	3	4	3	11	7
32	13	39	AREAGO BASIC PRY. SCH.	1,440	1	3	18	22	9	37	15
33	5	40	I.M.G. PRY. SCH. LAGOS BYE PASS	500	1	5	27	33	3	14	-19
34	12	41	ST. DAVID'S PRY. SCHL, AGBOYIN	1,236	1	3	28	32	12	32	0
35	15	42	MOLETE D.C. PRY. SCH. III	1,272	1	3	19	23	6	33	10
36	19	44	I.M.G. PRY, SCH, JOYCEB, OKE-ADO	454	1	3	9	13	3	12	-1
			合計	26,880	36	96	603	735	261	710	-25

3-5 プロジェクトの概略事業費

3-5-1 協力対象事業の概略事業費

(1) 日本側負担経費

施工・調達業者契約認証まで非公表

(2) ナイジェリア国側負担経費

本計画でのプロジェクト実施に係わるナイジェリア国側負担経費は、予定地支障物撤去費、アクセス改善費など下表が挙げられる。

表 3-19 ナイジェリア国側負担経費

費目	金額 (Naira)	備考
(1) 予定地支障物撤去費	22,550,000	老朽建物、基礎跡、樹木
(2) アクセス改善費	150,000	ソイル舗装
(3) アクセス上の溝へのスチールカバー	200,000	進入路確保
(4) 銀行口座開設手数料	300,000	
合計	23,200,000	約 0.14 億円

(3) 積算条件

- 1) 積算時点 2013 年 10 月
- 2) 為替交換レート 1 USD = 99.93 円 (2013 年 7 月～2013 年 9 月までの TTS 平均値)
- 3) 施工期間 詳細設計、工事の期間は、施工工程に示したとおり。
- 4) その他 積算は、日本国政府の無償資金協力の制度を踏まえて行うこととする。

3-5-2 運営・維持管理費

本計画による 36 校で整備される施設の維持管理費は、年平均で以下のように見積もられる。ナイジェリア国では、連邦予算の 2% を UBEC 予算に割り当てることが定められている (UBEC ACT 2004)。2014 年の連邦予算は 4 兆 6429 億ナイラなので、その 2% は 928 億ナイラ (約 586 億円) となる。UBEC 予算の 50% が各州への補助金に割り当てられており、1 州あたり約 7.9 億円となる。これに加え、オヨ州の初等教育予算は 2013 年で 18 億 5000 万ナイラ (約 11.7 億円) を措置している。本計画による 36 校で整備される施設の年間維持管理費は、UBEC 交付金およびオヨ州初等教育予算の 0.2% であり、負担可能な金額である。さらに施設維持管理は、UBEC の補助金、SUBEB・LGEA の予算及び SBMC の材料提供、労働奉仕などの協力により、実施可能であると考えられる。

表 3-20 施設維持管理費

項目	金額 (ナイラ/ 年) (年平均値)	備考
鋼製扉・窓の塗装	1,264,000	5 年ごとに塗り替え
外壁・内壁の塗装	2,554,000	10 年ごとに塗り替え
野地板及び母屋材の防蟻再塗装	685,000	3 年ごとに塗り替え
トイレピット内汚物除去・清掃	1,702,000	毎年実施
黒板の再塗装	384,000	2 年ごとに塗り替え
合計	6,589,000	

第 4 章 プロジェクトの評価

第 4 章 プロジェクトの評価

4-1 プロジェクトの前提条件

(1) 事業実施のための前提条件

本プロジェクトを開始するために前提となる条件は以下のとおりである。

- ① 施設建設のために必要な土地が確保されること。
- ② 免税措置が取られること。
- ③ 建設予定地における既存施設及び障害物の解体撤去工事を実施するとともに、整地が行われること。
- ④ 建設予定地及び工事アクセス確保に必要な生徒の移動及び安全指導が適切になされること。

4-2 プロジェクト全体計画達成のために必要な相手側投入（負担）事項

プロジェクトの効果を発現、維持するためにナイジェリア国側が取り組むべき事項は以下の通りである。

- ① 本プロジェクトにより新設、または教室の増設がなされる学校に対し、必要な教職員の配置が遅延なく行われる。
- ② 本プロジェクトにより新設される学校に対し、必要な教材の支給が遅延なく行われる。
- ③ 本プロジェクトにより新設、または教室の増設がなされる学校において、運営・維持管理に必要な経費が確保される。
- ④ 本プロジェクトにより新設、または教室の増設がなされる学校において、施設の運営・維持管理が適切に行われる。

4-3 プロジェクト全体計画達成のための外部条件

全体計画達成に係る外部条件としては、①建設資材市場における急激な価格変動が起らないこと、②政情不安、暴動等が発生しないこと、③大規模な自然災害が起らないこと、などが上げられる。

4-4 プロジェクトの評価

(1) 妥当性

以下に示すとおり、裨益対象が大きく、緊急性が高く、維持管理能力があり、環境に対する負の影響がなく、本計画は我が国の無償資金協力による対象事業として妥当であると判断される。

1) プロジェクトの裨益対象

直接の裨益対象は、対象校 36 校の生徒数 26,880 人、教職員 603 人である。

2) プロジェクト目標と緊急性

本プロジェクトの目標はオヨ州において小学校の施設建設、教育家具の整備などを行うことによる、同地域における学習環境の向上である。現状のオヨ州における教室の混雑度は 65 人/教室、対象校においては 112 人/教室であり、標準（40 人/教室）を上回っている。更に、就学環境として劣悪な状態である教室が多数を占めることから教室の増設、教育環境の整備・充実が急務である。

3) ナイジェリア国中・長期的開発計画の目標達成への貢献

本プロジェクトは、ナイジェリア国中・長期的国家開発戦略「ナイジェリア・ビジョン 20：2020 (Nigeria Vision20:2020)」に含まれている「2015 年までに男女とも 100%の初等教育修了、2020 年までの 100%の前期中等教育修了」とする目標達成に資するものであり、同国家開発計画と整合するものである。

4) 我が国の援助政策・方針との整合性

2012 年 12 月に策定された、我が国の対ナイジェリア国別援助方針では、援助の基本方針を「持続的な経済・社会発展の促進」としており、本プロジェクトは初等教育のアクセス向上と質の改善により持続的な経済・社会発展に資するものであり、同方針に合致する。

さらに、TICAD V「横浜行動計画 2013-2017」では、日本が主体となっていく対アフリカ支援の諸重点分野の中で、「適切な教育施設の供給、教員の能力向上及び関係者の管理行政能力の改善を通じた、初等および中等教育並びに職業訓練への衡平性に配慮したアクセス及び質の向上」を掲げている。教育分野の目標としては「新たに 2,000 万人の子供に対して質の高い教育を提供する」という数値目標を掲げておりこの達成にも寄与する。本プロジェクトは、この活動を具現化するものであり、日本が重視する支援分野の目標達成に寄与するものである。

5) 国際的な教育開発目標達成への寄与

ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals: MDGs）のゴール 2「普遍的初等教育の達成 ACHIEVE UNIVERSAL PRIMARY EDUCATION」に直接資するものである。

(2) 有効性

1) 定量的効果

本プロジェクト実施により期待される定量的効果は以下のとおりである。

- ① 継続使用可能な 1 教室当たりの生徒数が 112 人から 60 人に減少する。

2) 定性的効果

本プロジェクト実施により期待される定性的効果は以下のとおりである。

- ① 恒久的教室数の増加による学習環境の改善により、初等教育の質とアクセスの向上に寄与する。
- ② 男女別トイレを整備することにより、女子生徒の通学意欲が向上する。
- ③ 教室の風通し、採光・室内照度等の改善による学習環境の向上により、生徒の学習意欲が高まる。

以上の内容により、本プロジェクトの妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

資 料

資料-1 調査団員・氏名

1. 調査団員・氏名

(第1次現地調査)

氏名	担当業務	所属・現職
橋 秀治	総括・リーダー	独立行政法人国際協力機構 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課 課長
村岡 隆之	計画管理	独立行政法人国際協力機構 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課
南 直行	業務主任/施設計画	八千代エンジニアリング株式会社
車田 輝雄	建築設計 1	八千代エンジニアリング株式会社
佐藤 信一郎	建築設計 2	八千代エンジニアリング株式会社
小原 研二	施工計画/調達/積算	八千代エンジニアリング株式会社
小久保 和代	教育計画/機材計画	八千代エンジニアリング株式会社

(第2次現地調査)

氏名	担当業務	所属・現職
関 徹男	総括	独立行政法人国際協力機構 ナイジェリア事務所 所長
三上 恵美子	計画管理	独立行政法人国際協力機構 ナイジェリア事務所
南 直行	業務主任/施設計画	八千代エンジニアリング株式会社
車田 輝雄	建築設計 1	八千代エンジニアリング株式会社

(第3次現地調査)

氏名	担当業務	所属・現職
関 徹男	総括	独立行政法人国際協力機構 ナイジェリア事務所 所長
三上 恵美子	計画管理	独立行政法人国際協力機構 ナイジェリア事務所
南 直行	業務主任/施設計画	八千代エンジニアリング株式会社
車田 輝雄	建築設計 1	八千代エンジニアリング株式会社

資料-2 調査行程

2. 調査行程

(1) 第1次現地調査

月日	曜日	JICA		A チーム	A チーム	B チーム	B チーム	C チーム
		総括	計画管理	業務主任/施設計画	建築設計2	建築設計1	施工計画/調達/積算	教育計画/機材計画
		橋 秀治	村岡 隆之	南 直行	佐藤 信一郎	車田 輝雄	小原 研二	小久保 和代
9月15日	日			移動[東京(11:45) JL401 London(16:20)/(22:50) BA083 Abuja]				
9月16日	月			[Abuja到着05:10] ・JICAナイジェリア事務所との協議 ・連邦教育省及びUBEC(Universal Basic Education Commission)との協議(要請内容及び調査計画、インセプションレポートドラフト)				
9月17日	火			・UBEC 上位計画、教育計画調査 ・他ドナー・関連機関調査(世銀、DFID、その他)		自然条件調査 業者打合		・UBEC 上位計画、教育計画調査 ・他ドナー・関連機関調査(世銀、DFID他)
9月18日	水			イバダンへ移動(飛行機利用) ・オヨSUBEB表敬、調査予定確認				
9月19日	木			・オヨSUBEB協議(要請内容確認、調査計画、インセプションレポートドラフト) ・対象校調査(1校)				
9月20日	金			・対象校調査(3校)		・対象校調査(3校)		・対象校調査
9月21日	土			・対象校調査(3校)		・調達事情・施工計画調査		・対象校調査
9月22日	日	移動		アブジャに移動	資料整理			アブジャに移動
9月23日	月	・朝アブジャ着 ・国内打合せ ・JICAナイジェリア事務所・在ナイジェリア日本国大使館への表敬訪問 ・連邦教育省・NPC及びUBECへの表敬訪問		・JICAナイジェリア事務所・在ナイジェリア日本国大使館への表敬訪問 ・連邦教育省・NPC及びUBECへの表敬及び協議	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		・JICAナイジェリア事務所・在ナイジェリア日本国大使館への表敬訪問 ・連邦教育省・NPC及びUBECへの表敬及び協議
9月24日	火	・UBEC協議 ・他ドナー・関連機関調査 ・(可能なら)第1次実施校視察		・UBEC協議 ・他ドナー・関連機関調査 ・学校視察同行	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		教育計画、他ドナー・関連機関調査、維持管理体制調査
9月25日	水	イバダンへ移動(飛行機利用) ・オヨSUBEB表敬		イバダンへ移動 ・オヨSUBEB表敬	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		イバダンへ移動 ・オヨSUBEB表敬
9月26日	木	・オヨSUBEB 要請内容確認、インセプションレポート説明・協議 ・対象校視察		・オヨSUBEB 要請内容確認、インセプションレポート説明・協議 ・対象校視察	・オヨSUBEB 要請内容確認、インセプションレポート説明・協議 ・対象校視察	・オヨSUBEB 要請内容確認、インセプションレポート説明・協議 ・対象校視察		・オヨSUBEB 要請内容確認、インセプションレポート説明・協議 ・対象校視察
9月27日	金	・オヨSUBEB 要請内容確認、インセプションレポート説明・協議 ・対象校視察		・NPC、UBEC及びオヨSUBEB M/D案協議	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		・NPC、UBEC及びオヨSUBEB M/D案協議
9月28日	土	・対象校視察 ・ミニッツ案作成		・対象校視察 ・ミニッツ案作成	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		・対象校視察 ・ミニッツ案作成
9月29日	日	・アブジャに移動		アブジャに移動	資料整理	資料整理	資料整理	アブジャに移動
9月30日	月	・NPC/連邦教育省/UBEC及びSUBEBとのM/D(案)協議 ・ミニッツ修正 ・他ドナー・関連機関調査		・NPC/連邦教育省/UBEC及びSUBEBとのM/D(案)協議 ・ミニッツ修正 ・他ドナー・関連機関調査	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		教育計画、他ドナー・関連機関調査、維持管理体制調査
10月1日	火	・ミニッツ修正 ・報告書作成		資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理
10月2日	水	・M/D協議、署名・締結 ・在ナイジェリア日本国大使館及びJICAナイジェリア事務所へM/D締結の報告及び官団員帰国挨拶		・M/D署名・締結 ・在ナイジェリア日本国大使館及びJICAナイジェリア事務所へM/D締結の報告	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		教育計画、他ドナー・関連機関調査、維持管理体制調査
10月3日	木	移動 アブジャ発		イバダンへ移動	・対象校調査(2校)	・対象校調査(3校)		イバダンへ移動
10月4日	金	移動 東京着		対象校調査(3校)		対象校調査(3校)		対象校調査
10月5日	土			フィールドレポート作成 ・追加調査				
10月6日	日			フィールドレポート作成				
10月7日	月			フィールドレポート作成 ・補充調査				
10月8日	火			SUBEB-OYO フィールドレポート説明、協議(対象校選定、プロジェクト内容、基本計画、運営・維持管理、'ナ'国負担事項等)				
10月9日	水			アブジャへ移動				
10月10日	木			UBEC フィールドレポート説明、協議(対象校選定、プロジェクト内容、基本計画、運営・維持管理、負担事項等)				
10月11日	金			補充調査 JICAナイジェリア事務所・EOJ報告資料作成(現地調査結果概要ドラフト)				
10月12日	土			JICAナイジェリア事務所・EOJ報告資料作成(現地調査結果概要ドラフト)				
10月13日	日			資料整理				
10月14日	月			補充調査(場合によっては、JICAナイジェリア事務所、EOJ打合せ) JICAナイジェリア事務所・EOJ報告資料作成(現地調査結果概要ドラフト)				
10月15日	火			< Eid al-Kabir > JICAナイジェリア事務所・EOJ報告資料作成(現地調査結果概要ドラフト)				
10月16日	水			・在ナイジェリア日本国大使館及びJICAナイジェリア事務所への第1次現地調査結果内容報告及び協議				
10月17日	木			帰国:[Abuja(08:15) BA082 London(14:35)/(19:15) JL402 東京/成田]				
10月18日	金			[東京/成田到着15:00]				

(2) 第2次現地調査

日順	月日	曜日	JICA		コンサルタント	
			総括	計画管理	業務主任/施設計画	建築設計1
			関 徹男	三上 恵美子	南 直行	車田 輝雄
1	2014/2/22	土			コンサルタント:移動[東京 London]	
2	2014/2/23	日			[Abuja到着] コンサルタント団内協議	
3	2014/2/24	月		09:00 JICAナイジェリア事務所 打合せ 13:30 UBEC 説明・協議		
4	2014/2/25	火	08:30 UBEC ドラフトレポート説明・協議。 調査目的、日程説明。(Executive Secretary他)			
					調達事情調査	
5	2014/2/26	水		イバダンへ移動。 15:40 SUBEB ドラフトレポート説明・協議。 調査目的、日程説明。 (Executive Chairman他)		
6	2014/2/27	木		P2, 3, 20, 40, 44 校 調査 14:30 SUBEB 配置計画、相手国負担工事協議		
7	2014/2/28	金		P12, 31校調査 アブジャに移動	P12, 31, 42, 41, 39, 5校調査	
8	2014/3/1	土			P14, 19, 22, 13, 10, 27校調査	
9	2014/3/2	日			P4, 11, 35校調査 アブジャに移動	
10	2014/3/3	月	09:00 JICAナイジェリア事務所打合せ (オヨ調査結果報告、今後の対応他) 14:00 UBEC-NPC-FME-SUBEB協議 (オヨ調査結果、M/D案協議)			
11	2014/3/4	火		14:00 UBEC-SUBEB協議 (相手国負担工事、M/D案修正確認)		
12	2014/3/5	水	12:00 M/D署名 (JICA-UBEC-SUBEB-NPC-FME) 報告書作成			
13	2014/3/6	木		11:00 JICAナイジェリア事務所打合せ 14:00 日本大使館 報告・協議		
14	2014/3/7	金			移動 [Abuj London]	
15	2014/3/8	土			東京/成田着	

(3) 第3次現地調査

No.	日付		JICA		コンサルタント	
			総括	計画管理	業務主任/施設計画	建築設計1
			関 徹男	三上 恵美子	南直行	車田 輝雄
1	8月3日	日			移動 [東京 ロンドン]	
2	8月4日	月	- 10:00 JICAナイジェリア事務所協議(入札図書案、調査スケジュール、協議内容)			アブジャ到着
3	8月5日	火				- 10:00 JICAナイジェリア事務所協議(入札図書案、調査スケジュール、協議内容)
4	8月6日	水			- 14:00 UBEC協議(入札図書案、調査スケジュール、協議内容)	
5	8月7日	木			- 移動 [アブジャ 1155 イバダン 1310 Ark W3 792]	
6	8月8日	金			- SUBEB 協議(入札図書案、ナイジェリア側負担事項、実施スケジュール) (UBEC, NPC, FME参加)	
7	8月9日	土			- オヨ州政府協議、オヨ州知事表敬	
8	8月10日	日			- サイト視察 (N5P40, N44P19, N31P6, N24P8校)	
9	8月11日	月			- 移動 [イバダン ラゴス アブジャ]	
10	8月12日	火			- 資料整理	
11	8月13日	水			- 9:00 JICAナイジェリア事務所打合せ (オヨ州協議・調査結果報告)	
12	8月14日	木			- 10:00 UBEC-NPC-FME協議 (テクニカルノート案)	
13	8月15日	金			- 11:00 テクニカルノート署名 (UBEC-コンサルタント-SUBEB-NPC, FME同席)	
					- 9:00 日本大使館 報告・協議	
					移動 [アブジャ] ロンドン]	
					東京着	

資料-3 関係者(面会者)リスト

3. 関係者（面会者）リスト

所属・氏名 Party and Name

役職 Position

国家計画委員会 National Planning Commission (NPC)

Mr. Bassey O. Akpanyung	Director of International Cooperation Department
Mr. Eloho S.O.	Deputy Director
Mr. M.Y.Abdul Raheem	Assistant Director
Mr. Oluwakemi Ognnyohoi	Planning Officer (Asia & Pacific)
Mr. Kalu N. K.	Principal Planning Officer
Mr. Abdullahi Yokelon	Assistant Chief Planning Officer
Ms. Ewewie Abimbola	Senior Legal Officer (Asia & Pacific)

連邦教育省 Federal Ministry of Education (FME)

Ms. Mbanefo Irene	Deputy Director
Mr. Fabowale A.G.	Assistant Director
Ms. Obichukwe Norgem Gladys	Assistant Director
Ms. Amedu Maria A.	Chief Education Officer

基礎教育普及化委員会 Universal Basic Education Commission (UBEC)

Dr. Dikko Suleiman	Executive Secretary
Prof. Charles O. Onecha	Ag. Executive Secretary (Former)
Dr. Yakubu Gambo	Deputy Executive Secretary
Dr. Sharon 'Rowo Oriero-Oviemuno'	Deputy Executive Secretary (Technical)
Mr. Baba Sali Song	Director, Planning Research & Statistics (PRS)
Dr. C.C. Agomoh	Director, Quality Assurance
Mr. M. S. Dukku	Deputy Director, Finance and Account
Mrs. O. A. Orugun	Acting Director, Social Mobilization
Ms. B. O. Onekutu	Director, Academic Services
Mr. B. N. Tsado	Deputy Director, Academic Program
Engr. Sadiq Saad	Assistant Director, Physical Planning
Mr. David Apeh	Chief Protocol Officer (CPRO)
Mr. Bello Kagara	Project Coordinator (Former)
Mr. Iro Umar	Project Coordinator
Mr. Molkat M. Mutfwang	Architect
Mr. Yakubu Achimugu	Assistant Chief Statistic Officer
Ms. Fatima G. Yusuf	Legal Adviser
Mr. Ahyu Jauro	Town Planning Officer
Mr. Abba U. Lim	Higher Technical Officer &QS
Ms. Zahra U. Dembo	Information Officer 2
Mr. Uthman Olatunji	Civil Engineer II
Mr. Aliyu Jamo	Town Planning Officer II
Ms. Akintunde Rafiyat	Public Relation Unit Assistant

オヨ州基礎教育普及会委員会 Oyo State Universal Basic Education Board (Oyo SUBEB)

Dr. Busari O. Adebisi	Executive Chairman
Mr. W.O. Amao	Permanent Secretary
Mr. Razaq Raji	Full Time Member (North)
Ms. Oluyemisi Fakoyecele	Full Time Member (South)
Mr. Tok Adepoju	Board Member
Mr. Ki. O. Amoo	Permanent Secretary (TESCOM)
Mr. Yinka Osuntogan	Permanent Secretary (SUBEB)
Mr. H. K. Adedolum	Director/ Planning research and statistics (Former)
Mr. Sorungbe K.O	Director/ Planning research and statistics
Mr. F. O. Asuni	Director / School Services
Ms. I. I. Fatoki	Director / Standard and Quality Assurance
Ms. L. B. Eniola	Director / School Management & Information Communication Technology
Ms. C.A. Adejumo	Director / Administration and Supply
Mr. T. O. Ogunwale	Director Finance and Accounting
Mr. A. O. Adelady	Deputy Director/ Planning Research and Statistics
Mr. F. O. Adekumle	Deputy Director/ Planning Research and Statistics
Ms. F. A. Adeyemi	Deputy Director/ Planning Research and Statistics
Mr. O. R. Omoladum	P.T.O. (Architect) Technical Officer
Mr. A. A. Adeyemi	Chief Statistician
Mr. Akinwale K.B	Chief Accountant
Mr. F. M. Okeyunka	P.T.O.(Quantity Surveyor) Technical Officer
Mr. O.R. Omoladun	P.T.O. (Architect) Technical Officer
Mr. P. A. Ademole	P.T.O. (Civil Engineer) Technical Officer
Ms. E. O. Bujau	Deputy Director/_Finance and Accounting
Ms. B. F. Iloui	School Service Officer
Ms. O. O. Oluwli	Chief Education Officer
Ms. H. A. Mustzyike	Principal Education Officer
Ms. F. J. Ayodurem	Principal Technical Officer (Estate)
Ms. K. F. Adeyomoye	Chief Education Officer
Mr. M. A. Rufmi	Press Officer
Ms. T. A. Akeinde	Secretary Planning research and statistics
Mr. D. A. Akunde	Principal Technical Officer (Quantity Surveyor)
Mr. Ellebed S.A.	Principal Technical Officer (Architect)

オヨ州政府 Oyo State Government

Mr. Abiola Adeyemi Ajimobi	Governor
Mr. Abimbola Adekanmi	Deputy Chief of Staff

世界銀行 World Bank (WB)

Mr. Wale Samuel	Education Task Leader
-----------------	-----------------------

英国国際開発省 Department for International Development of the UK (DFID)

Ms. Sandra Graham	Consultant, Education Sector Support Programme in Nigeria (ESSPIN)
-------------------	---

米国国際開発局 United State Agency for International Development (USAID)

Mr. Haladu Mohammed

Education Program Manager

Ms. Nafia Ado

Education Program Manager

韓国国際協力機構 Korea International Cooperation Agency (KOICA)

Mr. JUNG. Sang-Hoon

Chief Representative of KOICA Office in Nigeria

在ナイジェリア日本大使館 Embassy of Japan

Mr. Ryuichi Shoji 庄司隆一

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary

特命全権大使

Mr. Takeshi Hagino 萩野剛

First Secretary 一等書記官

Mr. Kazuhito Kibana 木花和仁

First Secretary 一等書記官

Mr Chikara Yoshimura 吉村力

First Secretary 一等書記官

Ms. Mariko Chiba 千葉真梨子

Project Coordinator 専門調査員

Mr. Kosuke Nagao 長尾浩介

Project Coordinator 専門調査員

JICA ナイジェリア事務所 JICA Nigeria Office

Mr. Tetsuo Seki 関徹男

Chief Resident Representative 所長

Mr. Masato Mikamo 美甘政門

Representative

Ms. Chie Shimodaira 下平千恵

Representative

Mr. Kensuke Oishi 大石

Representative

Ms. Emiko Mikami 三上恵美子

Project Formulation Advisor 企画調査員

Mr. Ozuruoke Kingsley D.

Programme Officer

Ms. Ahmed Halim

Consultant

Ms. Elekwachi N. Doris

Programme Officer

資料-4 討議議事録(M/D)

**MINUTES OF DISCUSSIONS
ON PREPARATORY SURVEY
ON THE PROJECT FOR CONSTRUCTION OF CLASSROOMS
FOR PRIMARY SCHOOLS IN OYO STATE
IN THE FEDERAL REPUBLIC OF NIGERIA**

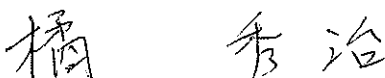
In response to the request from the Government of the Federal Republic of Nigeria (hereinafter referred to as "Nigeria"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Construction of Classrooms for Primary Schools in Oyo State (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the survey to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA has sent to Nigeria the Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr. Hideharu TACHIBANA, Director of Basic Education Division 2, Human Development Department, JICA, and its scheduled to stay in Nigeria from September 16 to October 17, 2013.

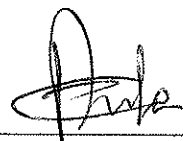
The Team had a series of discussions with the officials concerned of the Nigerian Side and conducted a field survey.

In the course of the discussions and the field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Abuja, Nigeria
October 2, 2013



Mr. Hideharu Tachibana
Leader,
Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)



Prof. Charles O. Onocha
Ag. Executive Secretary,
Universal Basic Education Commission
(UBEC)
Federal Republic of Nigeria

Witnessed by



Dr. Busari O. Adebisi
Executive Chairman,
State Universal Basic Education
Board (SUBEB) Oyo
Federal Republic of Nigeria

Witnessed by



Mr. Bassey O. Akpanyung
Director of International Cooperation
Department,
National Planning Commission (NPC)
Federal Republic of Nigeria

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to improve access and educational environment of primary education through construction of facilities.

2. Responsible and Implementing Organization

- 2-1. The responsible organization is the Universal Basic Education Commission (UBEC) of the Federal Ministry of Education. (The organizational structure of UBEC is in ANNEX 1)
- 2-2. The implementing organization is the Oyo State Universal Basic Education Board (SUBEB) of the State Ministry of Education. (The organizational structure of SUBEB is in ANNEX 2)

3. Project Sites

- 3-1. Both sides confirmed that the target state of the Project will be Oyo State.
- 3-2. Both sides agreed that the candidate sites for the project will be selected from the candidate site list as attached in ANNEX 3 based on the criteria described in ANNEX 4. Depending on the field survey results, the candidate site list (ANNEX 3) can be revised in consultation with Oyo SUBEB.

4. Project Components


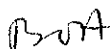
- 4-1. Both sides agreed that classroom construction and supply of educational furniture (blackboard, desk and chair), will be given the highest priority to achieve the objective of the Project. Both sides agreed to the project components as shown in ANNEX 5.
- 4-2. A soft component will be included, depending on the result of the survey.
- 4-3. Both sides agreed that, in case of shortage of the Project budget, reduction of the target school should be considered in accordance with the order of priority as shown in ANNEX 3. Both sides also agreed that the detail would be discussed at the implementation stage in this case.

5. Japan's Grant Aid Scheme

- 5-1. The Nigerian side agreed that Japan's Grant Aid Scheme for Community Empowerment (hereinafter referred to as "GACE") will be used for the Project. The Nigerian side understood the outline of GACE as described in ANNEX 6 and as explained by the Team.

6. Framework of Project Implementation

The Team explained the following framework of implementation;



- 6-1. Japan's Grant Aid is extended in accordance with the "Exchange of Notes" by the two governments concerned and with the "Grant Agreement" between JICA and the Nigerian side, in which the objectives of the Project, the period of execution, conditions and the amount of Grant Aid, etc., are described.
- 6-2. After concluding the Exchange of Notes and the Grant Agreement, the Nigerian side shall make a procurement management service contract with a procurement agent (hereinafter referred to as "the Agent").

7. Committee

- 7-1. For smooth implementation of the Project, both sides confirmed to establish a Consultative Committee (hereinafter referred to as "the Committee") composed of the relevant authorities of Nigeria and JICA. The members of the Committee are as follows;

- (1) Representative of Federal Ministry of Education
- (2) Representative of National Planning Commission
- (3) Representative of UBEC
- (4) Representative of Oyo SUBEB
- (5) Representative of JICA Nigeria

Other relevant authorities can be invited to the Committee if necessary.

- 7-2. The Terms of Reference (TOR) of the Committee are as follows:

- (1) To confirm the progress of the Project
- (2) To discuss the scope of the Project
- (3) To decide allocations of the remaining budget of the Grant (if any), and
- (4) To discuss and resolve any matters arising

8. Measures taken by the Nigerian side

- 8-1. The Nigerian side assured to take necessary measures, as described in ANNEX 7, for smooth implementation of the Project.
- 8-2. The Nigerian side confirmed that UBEC shall take in a timely manner necessary measures to exempt VAT and other fiscal levies which may be imposed in Nigeria in order to ensure smooth implementation of the Project.
- 8-3. The Nigeria side confirmed that Oyo SUBEB shall take in a timely manner necessary measures including budget allocation to prepare leveled site when needed in order to ensure smooth implementation of the Project. The leveled site including demolition and removal of foundations will be prepared by July, 2014 before finalization of the draft tender documents. Otherwise the planned construction site should be shifted to proper location in site plan.

af

BWA.

AA

P.O.V

9. Schedule of the Survey

- 9-1.** The Consultant members of the Team will continue the survey in Nigeria until October 17, 2013.
- 9-2.** Based on the results of the field survey in Nigeria, the Team will continue data analysis and prepare a basic design in Japan by January, 2014. JICA will dispatch the second field survey team to present the draft report on the Project in February, 2014.
- 9-3.** After completing the second field survey, the team will prepare the reference material for tender documents by June 2014. JICA will dispatch the third field survey team to present and explain the reference materials in July, 2014.

10. Other Relevant Issues

- 10-1.** The Nigerian side agreed that SUBEB shall provide attestation for all candidate sites to the Team by October 8, 2013.
- 10-2.** The Nigerian side shall provide the Team with all the relevant data, information and materials needed to complete the survey.
- 10-3.** The Nigerian side shall be responsible for proper operation and maintenance of school facilities provided by the Project.
- 10-4.** The Nigerian side shall take all necessary measures to assure security of Japanese nationals engaged in the Project.

ANNEX 1: Organizational diagram of UBEC

ANNEX 2: Organizational diagram of SUBEB

ANNEX 3: List of candidate schools and priorities

ANNEX 4: Selection criteria of candidate schools

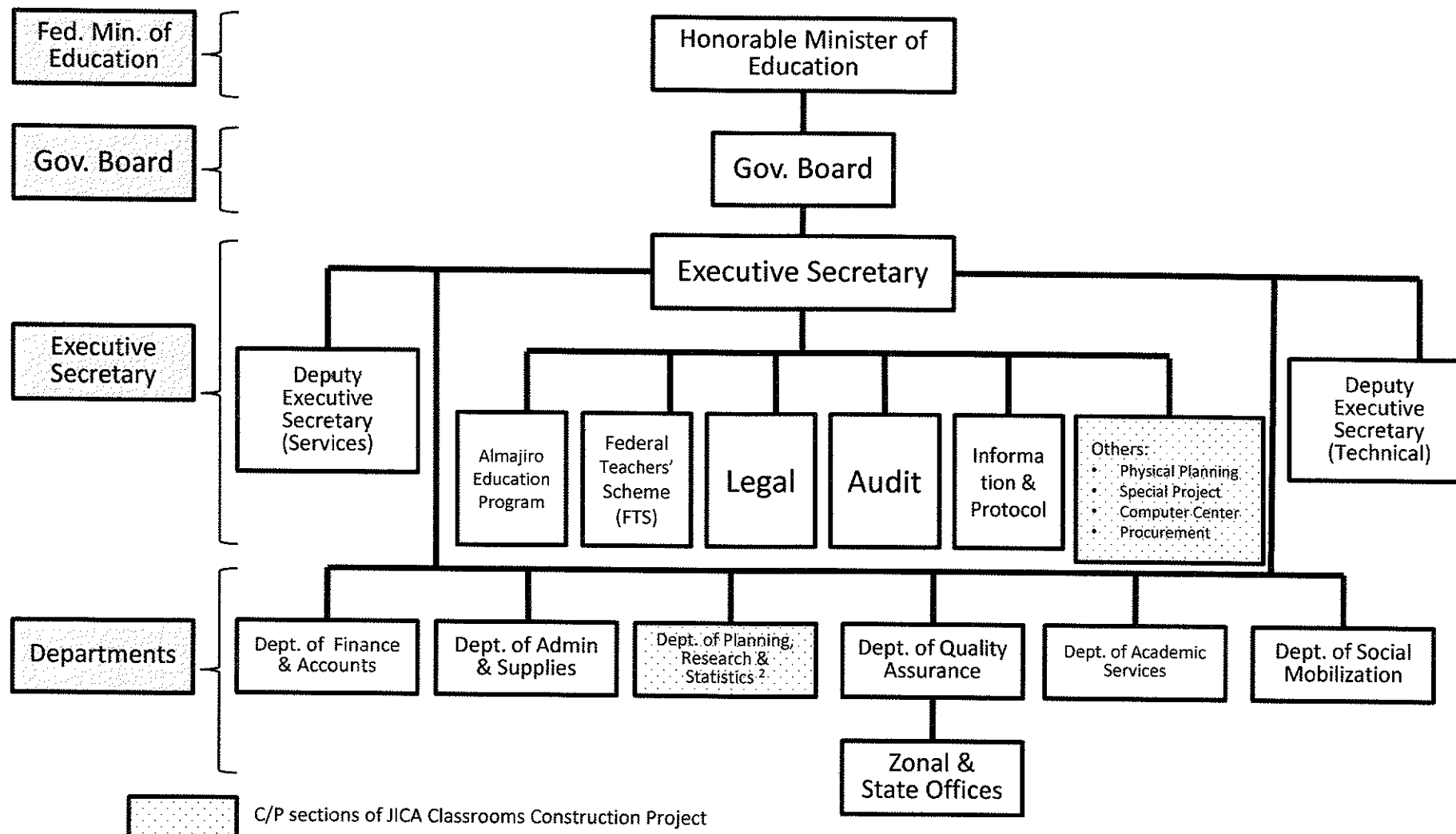
ANNEX 5: Project components

ANNEX 6: Outline of Japan's Grant Aid for Community Empowerment

ANNEX 7: Major undertaking to be taken by each Government

Organizational diagram of UBEC

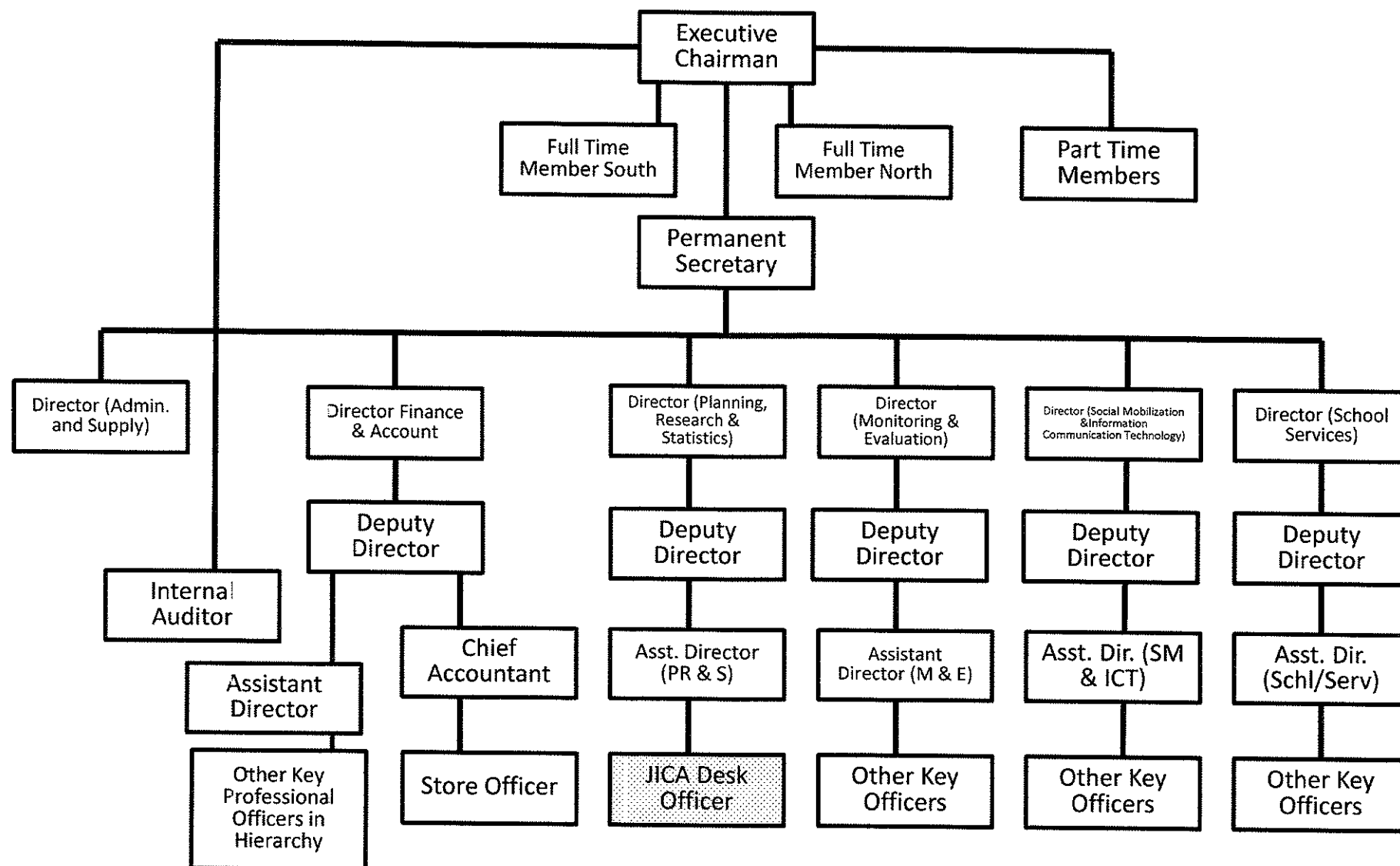
ANNEX 1



*1: The projects by JICA belongs to the Special Project Unit .

*2: Dept. of P,R & S covers monitoring of projects by donors including JICA Classrooms Construction project for the Special Project Unit, where no architectural specialists exists.

Organizational diagram of SUBEB



List of Candidate schools and priorities

ANNEX 3

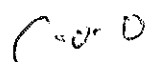
S/N	NAME OF SCHOOL	LGUBEA	ENROLMENT	NO OF CLASSROOM	NO OF CLASSROOM IN GOOD CONDITION	NO OF CLASSROOM IN BAD CONDITION	NO OF CLASSROOMS REQUIRED	NO OF TEACHER	TEACHER-PUPIL RATIO (1: 40)	DISTANCE FROM THE LGA	SOURCE OF WATER	TOILET	NOTE
1	RATIBI MOSLEM PRIMARY SCHL ODINJO	IBADAN SOUTH EAST	788	9	2	7	20	17	46	3.5KM	NO	NO	
2	ST LUKE DEMONSTRATION SCHL MOLETE IBADAAN	IBADAN SOUTH EAST	611	17	3	7	15	25	24	7KM	NO	NO	
3	ST. LEO'S CATH., SCHL, ORITA-CHALLENGE	IBADAN SOUTH EAST	745	11	5	6	19	27	28	10KM	NO	NO	
4	I.M.G. PRIMARY SCHL, OLUBADAN IV	IBADAN SOUTH EAST	930	0	0	0	24	33	28	1/2KM	NO	NO	Currently, 3 schools exist in this school. School I has 1,005 pupils, school II has 1,812 pupils, and school III has 1,813 pupils. This school will split the class from school II and III. 930 pupils will be transferred to new school IV to improve overpopulated situation.
5	ONISAPA C.P.S	OGBOMOSO SOUTH	1951	29	25	4	49	30	65	3KM	NO	NO	
6	LA DEM. PRY. SCH.	ISEYIN	379	3	1	2	9	26	15	5KM	NO	NO	
7	I.D.C. PRY. SCH. AKOBO	LAGELU	762	13	5	8	19	22	35	8KM	NO	NO	
8	ISLAMIC PRY. SCH. MONIYA	AKINYELE	699	11	11	0	17	35	20	3KM	NO	NO	
9	ST. AUGUSTINE PRY. SCH. AKINSAWE	LAGELU	562	10	3	7	14	9	62	10KM	NO	NO	
10	ST. PHILIPS PRY. SCH. FASOLA	OYO WEST	676	7	0	7	17	15	45	15KM	NO	NO	
11	CHRIST CHURCH SCH. I AKINFENWA	EGBEDA	895	7	3	4	22	23	39	6KM	NO	NO	
12	ABADINA PRY. SCH. U.I	IBADAN NORTH	655	15	6	9	16	13	50	4KM	NO	NO	
13	ST. MARY'S PRY. SCH. I	ISEYIN	590	17	11	6	15	17	35	6KM	NO	NO	
14	BAPTIST PRY. SCH. AJEGUNLE III	IBARAPA CENTRAL	1021	0	0	0	26	19	54	3KM	NO	NO	New School
15	ST. JOSEPH FRY. SCH. NALLENDE	IBADAN NORTH WEST	1240	4	0	4	31	18	69	4KM	NO	NO	
16	METHODIST BASIC SCH. ILESADA	OGO OLUWA	634	18	8	10	16	5	127	4KM	NO	NO	
17	COMM. PRY. SCH. I - IV AYEKALE IBADAN	IBADAN NORTH EAST	590	11	5	6	15	19	31	5KM	NO	NO	
18	METHODIST PRY. SCH. AGO - IJIO	ISEYIN	338	11	4	7	8	19	18	4KM	NO	NO	
19	METH. PRY. SCHL, OKE-ODO, IGBOORA	IBARAPA CENTRAL	667	16	6	10	17	22	30	2KM	NO	4	
20	COMM. PRY. SCHL, OLUODE	IDO	567	8	1	7	14	13	44	6KM	NO	NO	
21	C.P.S AKINGBILE OLUANA	AKINYELE	673	11	4	7	17	25	27	4KM	NO	NO	
22	BAPTIST PRY. SCH. MAYA LANLATE	IBARAPA EAST	492	5	2	3	12	16	31	6KM	NO	NO	

B	23	ST. ANNE'S III IGANGAN	IBARAPA NORTH	349	6	5	1	9	8	44	2.3KM	NO	NO	
	24	BAPTIST BASIC SCH. IPASA	SURULERE	151	5	4	1	4	6	25	5KM	NO	NO	
	25	C & S PRY. SCH. II AYETE	IBARAPA NORTH	344	6	4	2	9	13	26	0.8KM	NO	NO	
	26	LA PRY. SCH. OKEOLOLA	ATIBA	291	9	9	0	7	28	10	2KM	NO	4	
	27	ST. MICHEAL ANG. RCM, ARAROMI	OYO EAST	819	9	5	4	20	37	22	3KM	NO	NO	
	28	ST. PETER'S OKE- ARE	IBADAN NORTH	712	24	24	0	18	30	24	2KM	NO	NO	
	29	C.A.C. AGOGC ERUWA	IBARAPA EAST	383	7	2	5	10	12	32	2KM	NO	NO	
	30	COMM. BASIC SCH. KEEWO	SURULERE	168	6	2	4	4	4	42	4KM	NO	NO	
	31	ST. PETER'S PRY. SCH. APETE	IDO	389	8	0	8	10	10	39	8KM	NO	2	
	32	ARMY CHILDREN PRY. SCH.	ISEYIN	319	4	2	2	8	7	46	1KM	NO	4	
C	33	METHODIST PRY. SCH. IDI-IROKO	AKINYELE	568	0	0	0	14	25	23	10KM	NO	NO	
	34	ISLAMIC MISSION PRY. SCH. I & II AGUGU	IBADAN NORTH EAST	590	8	8	0	15	15	39	5KM	NO	NO	
	35	C.P.S I AYEPE	EGBEDA	667	7	4	3	17	18	37	2KM	NO	NO	
	36	BAPTIST PRY SCHL I, OTAMOKUN	OGO OLUWA	726	12	7	5	18	11	66	3KM	NO	NO	
	37	COMM. PRY. SCHL. OGUNKEYE	OYO WEST	435	9	9	0	11	4	109	12KM	NO	NO	
	38	U.N.A. MISSION SCH. INALENDE	IBADAN NORTH	865	8	6	2	22	15	58	3KM	NO	NO	
	39	AREAGO BASIC PRY. SCH.	OGBOMOSO NORTH	1487	31	4	27	37	20	74	1 1/2KM	NO	NO	
	40	I.M.G. PRY. SCH. LAGOS BYE PASS	IBADAN SOUTH WEST	481	6	3	3	12	17	28	2KM	NO	NO	
	41	ST. DAVID'S PRY. SCHL. AGBOYIN	OGBOMOSO NORTH	1450	17	5	12	36	30	48	1X2KM	NO	NO	
	42	MOLETE D.C. PRY. SCH. III	OGBOMOSO SOUTH	1364	10	8	2	34	15	91	2KM	NO	NO	
	43	BAPTIST PRY SCHL III, AGBOYE	OYOEAST	726	6	3	3	18	21	35	4KM	NO	NO	
	44	I.M.G. PRY. SCH. JOYCEB, OKE-ADO	IBADAN SOUTH WEST	449	11	9	2	11	11	41	0.6KM	NO	NO	
		TOTAL		30198	442	228	207	755.7	805					

Selection criteria of candidate schools

Requested schools shall be evaluated based on the selection criteria as follows;

- 1) Site location shall not be remote from Ibadan in view of security and efficiency reason.
- 2) The school shall have urgency necessity for construction of additional classrooms (present shortage of classrooms from the standard of 40 pupils per classroom),
- 3) The maximum number of classrooms, to be constructed per site will be 24 in order to benefit rural schools.
- 4) Minimum requirement for additional classrooms per school is 3 (standard number of pupils per classroom should be 40).
- 5) Land ownership or proper land use right for school construction shall be secured with written evidence by SUBEB.
- 6) There shall be no overlapping with current/ongoing facility improvement by the Nigerian Government, other donors, NGOs, etc.
- 7) Topographically/environmentally safe and appropriately sized land for construction shall be secured.
- 8) Access roads for construction vehicles shall be properly provided.
- 9) Sufficient number of teachers, staff and budget for selected school shall be secured by the Nigeria side.
- 10) Cooperation from School-Based Management Committee (SBMC) shall be obtained for proper operation and maintenance.



Project components

- (1) Classroom
- (2) Educational Furniture (Blackboard, desk, chair)
- (3) Toilet
- (4) Soft Components (depending on the result of the survey)
- (5) Administration room (Head Master's room and Teacher's room)

Remarks: Administration room can be built only for new school, if necessary.

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

Outline of Japan's Grant Aid for Community Empowerment

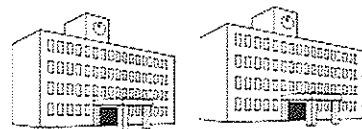
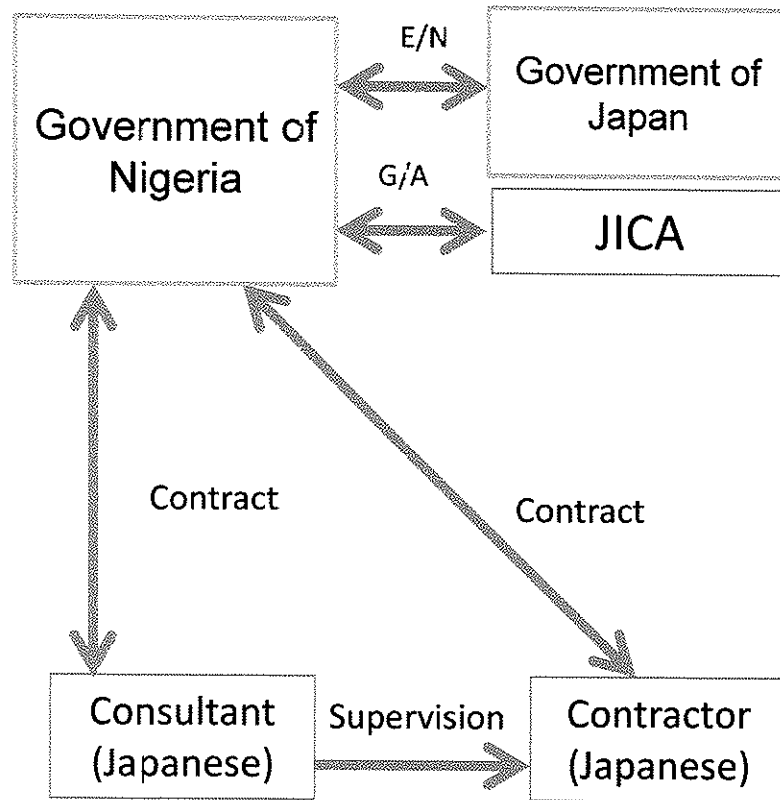
1. Local contractors through local tender process

- Local contractors will be used for construction work by local tender.
- Tender will be conducted according to JICA Procurement guideline, considering the local practice.
- Quality of construction may be different from the Project applied that were applied to the General Grant Aid.
- Supervision for the construction work and procurement of furniture will be conducted by a Japanese consultancy firm to maintain the quality of the work (just the same arrangement as the General Grant Aid project).

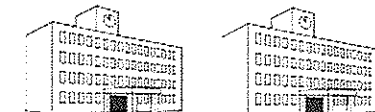
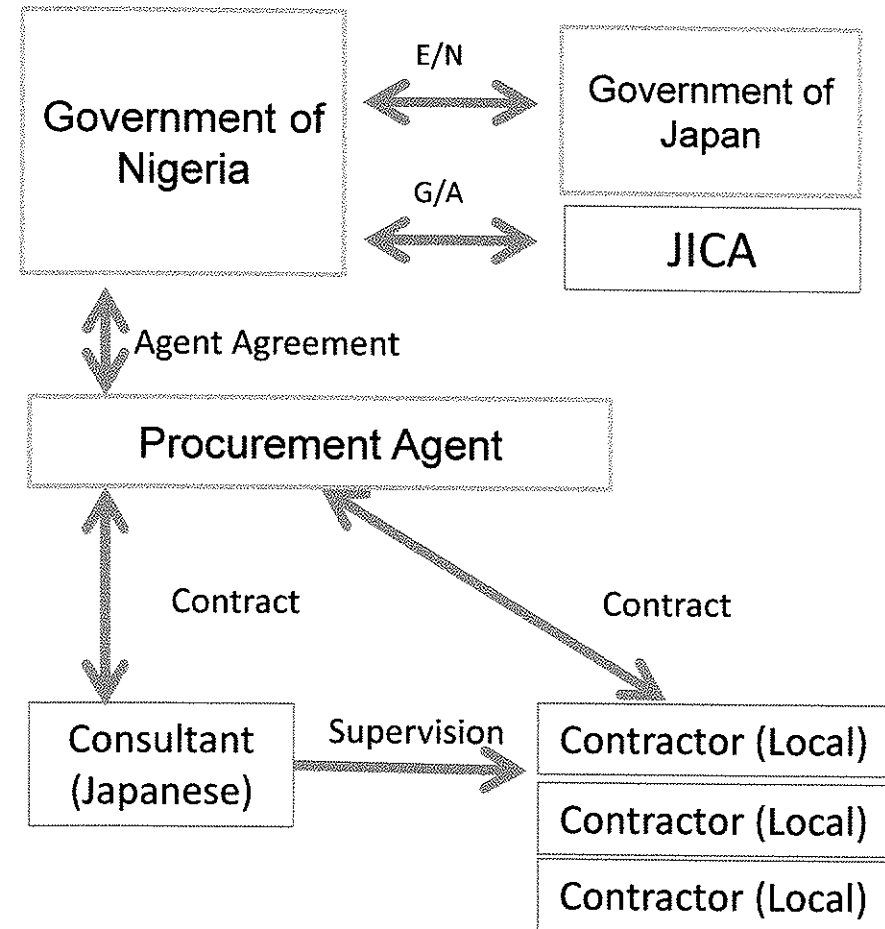
	General Grant Aid (ex. Primary School Project in Kaduna, Niger, Plateau Phase1)	GACE (New)
Contractors	Japanese	Local
Consultant for supervision	Japanese	Japanese
Cost	\$\$\$\$\$	\$\$\$

2. Implementation structure

General Grant Aid



GACE



2. Implementation structure

(1) Procurement Agent

- Procurement Agent (hereinafter referred to as “the Agent”) will implement procurement works of the Project on behalf of the Government of Nigeria, to manage the Grant including executing payments to the contractors/suppliers, and coordinating interests of stakeholders of the Project.
- The Agent will be recommended by the Government of Japan and agreed between both Governments in the Agreed Minutes of the Exchange of Notes (E/N).
- The Agent Agreement will be concluded between the authorities concerned of the Government of Nigeria and the Agent before the Project starts.

2. Implementation structure

(2) Consultative committee

- To implement the Project smoothly, a consultative committee will be established.
- Consultative committee is consisted of:

Chair	the head of the representative of the Government of Nigeria
Members	the representative of the Government of Nigeria, JICA Nigeria office
Advisor	the Agent

- The Terms of Reference are :
 - 1) To confirm the progress of the Project,
 - 2) To discuss the scope of the Project,
 - 3) To decide allocations of the remaining budget of the Grant,
 - 4) To discuss and resolve any matters arising

3. Modification of the components

- The Project components may be modified due to the price escalation, exchange rate fluctuation.
- Priority for the components should be clearly set, and additional components should be determined.

4. (1) Flow of implementation

Stage	G of Japan	JICA	JICS	Bank in Japan	Contractors or Suppliers	Recipient Government	Remarks
Exchange of Notes	◎					◎	
Grant Agreement		◎				◎	
Banking Arrangement				◎		◎	
Notice of opening of account		○				◎	"Account" is opened in the name of the Nigerian Government.
Fund disbursement		◎				△	To the Recipient's account at bank in Japan
Agent Agreement (AA)		○	◎			◎	Signed AA is to be approved by JICA.
Blanket Disbursement Authorization(BDA)			△	○		◎	BDA is to be submitted to the bank through JICS.
Fund Allocation			○			◎	
Fund transfer			◎	◎		△	From the Recipient's Account to Bank Accounts for Procurement

◎ Parties concerned

○ Parties to be consulted or to receive documents (to confirm, agree, review, approval, and etc)

△ Parties to share information

4. (1) Flow of implementation (cont'd)

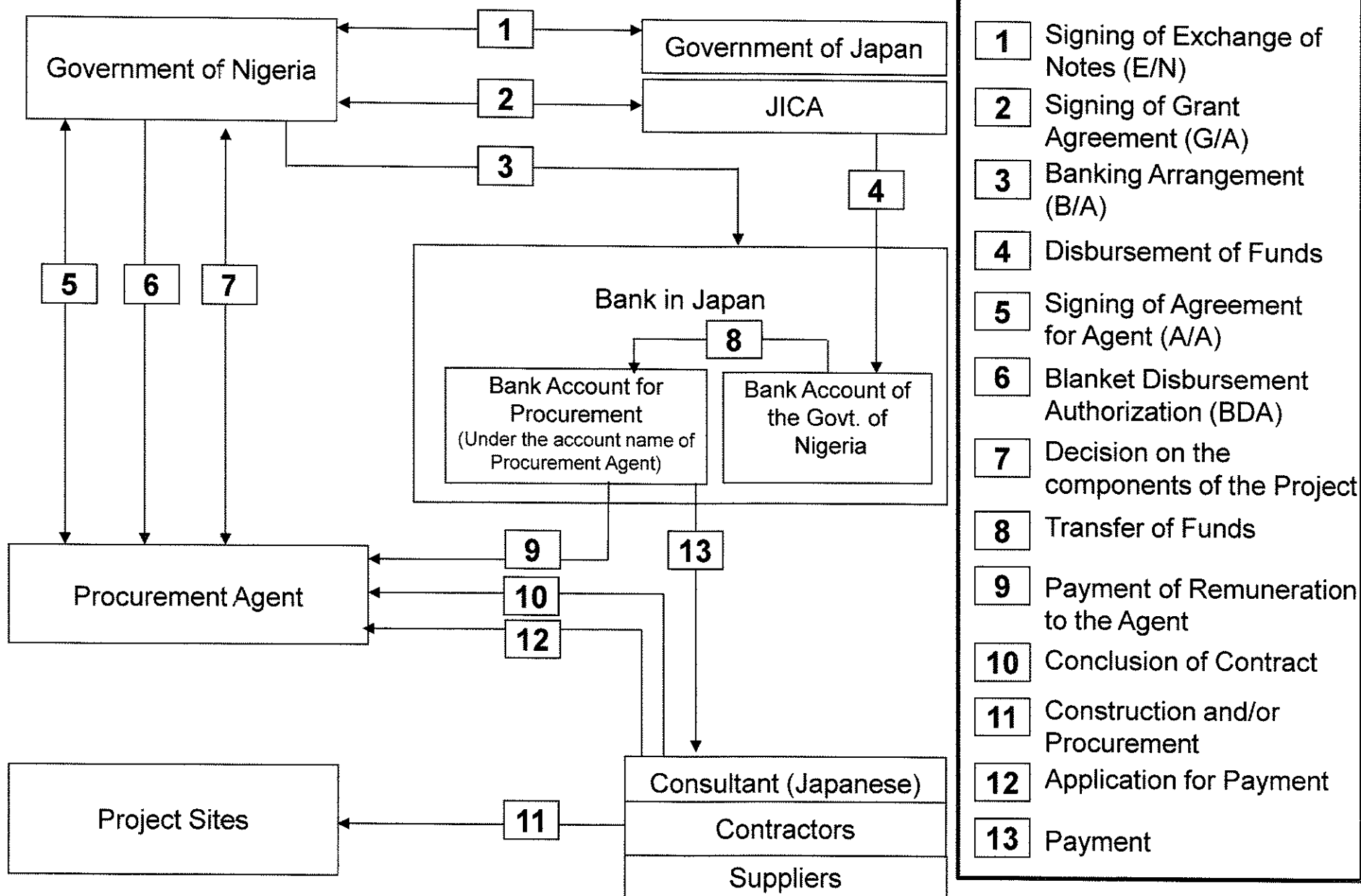
Stage	G of Japan	JICA	JICS	Bank in Japan	Contractors or Suppliers	Recipient Government	Remarks
Bidding process		△	◎		◎	○	
Evaluation		△	◎			○	
Contracting		△	◎		◎	○	
Taxes Exemption					◎	◎	
Construction works & delivery			◎		◎	△	
Payment			◎		◎	△	To consultant, contractors, suppliers and JICS
Variation		(○)	◎		◎	◎	
Use of Remaining amount	(○)	◎	△			◎	
Reimbursement		○	◎	(○)		◎	When all the payments have been completed and the total of the remaining amount is less than 3 % of the Grant and its accrued interest excluding the Agent's fees

◎ Parties concerned

○ Parties to be consulted or to receive documents (to confirm, agree, review, approval, and etc)

△ Parties to share information

4. (2) Flow of Fund



MAJOR UNDERTAKING TO BE TAKEN BY EACH GOVERNMENT

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site		●
4	To construct the parking lot (within the site if incidental)		●
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the buildings	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity	N/A	
	a. The distributing line to the site		
	b. The drop wiring and internal wiring within the site		
	c. The main circuit breaker and transformer		
	2) Water Supply	N/A	
	a. The city water distribution main to the site		
	b. The supply system within the site (receiving and elevated tanks)		
	3) Drainage		
	a. The city drainage main (for storm, sewer and others to the site)		●
	b. The drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Telephone System	N/A	
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building		
	b. The MDF and the extension after the frame/panel		
	5) Furniture and Equipment		
	a. General furniture		●
	b. Project equipment (Desks and chairs for students and teacher)	●	
8	To bear the following commissions to the Japanese bank for banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
9	To ensure unloading and customs clearance at port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine (Air) transportation of the products from Japan the recipient	●	
	2) Tax exemption and custom clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	●	
10	To accord Japanese nationals whose service may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work.		●
11	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts		●
12	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid		●
13	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment		●

(B/A : Banking Arrangement, A/P : Authorization to pay, N/A: Not Applicable)

**MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
PREPARATORY SURVEY
(EXPLANATION OF DRAFT REPORT)
ON
THE PROJECT
FOR
CONSTRUCTION OF CLASSROOMS FOR PRIMARY SCHOOLS IN OYO STATE
IN
THE FEDERAL REPUBLIC OF NIGERIA**

In October 2013, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") conducted the field survey as a part of the Preparatory Survey on the Project for Construction of Classrooms for Primary Schools in Oyo State (hereinafter referred to as "the Project"). Based on the results of the field survey and subsequent technical examinations conducted in Japan, JICA prepared the Draft Preparatory Survey Report.

In order to explain the contents of the report and discuss with the officials concerned of the Government of Nigeria, JICA sent the Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), which was headed by Mr. Tetsuo Seki, Chief Representative, JICA Nigeria Office from 23 February to 7 March, 2014.

As a result of discussions, both sides have confirmed the main items described in the attached sheet.

Abuja, 5 March, 2014



Mr. Tetsuo Seki
Chief Representative
Nigeria Office
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

Witnessed by



Dr. Alhaji Dikko Suleiman
Executive Secretary
Universal Basic Education Commission
(UBEC)
Federal Republic of Nigeria

Witnessed by



Dr. Busari O. Adébisi
Executive Chairman
Oyo State Universal Basic Education
Board (SUBEB)
Federal Republic of Nigeria



Mr. Bassey O. Akpanyung
Director of International Cooperation
Department
National Planning Commission (NPC)
Federal Republic of Nigeria

ATTACHMENT

1. Contents of the Draft Report

The Nigerian side agreed and accepted in principle the contents of the Draft Preparatory Survey Report as presented by the Team.

2. Components and Facilities to be Covered by the Project

Both sides agreed on the list of components and facilities for each candidate school to be covered by the Project and their order of priority as shown in ANNEX-1. The Nigerian side agreed that the Japanese side would make a final decision on this matter through further study in Japan.

The Nigerian side understood there was a possibility to adjust the volume of components as a result of the tenders or fluctuations of the exchange rate. The volume of components should be reduced, in accordance with the order of priority shown in ANNEX-1.

3. Japan's Grant Aid Scheme and Major Undertakings

The Nigeria side understood the Japan's Grant Aid Scheme, and assured that it shall take necessary measures as described in ANNEX-6 and 7 of the Minutes of Discussions signed by both parties on 2 October, 2013. Furthermore, the Government of Nigeria agreed to take a full responsibility to demolish and remove the obstacles at the construction sites, to secure and rehabilitate access to the sites. The demolition, removal and access improvement works for the construction site shall be completed by September 2014 including removal of underground foundation and roots. The details of obligations to be covered by the Government of Nigeria are described in ANNEX-2.

4. Final Report of the Preparatory Survey

JICA will finalize the report in accordance with the result of discussions and by September 2014 forward it to the Government of Nigeria after the Government of Japan approves the Project.

5. Project Cost Estimation

The Nigerian side understood that the Project cost estimation described in ANNEX-3 was not final at this stage and would be set and approved by the Government of Japan after thorough examinations.

6. Confidentiality of the Information Related to the Project

Both sides confirmed that all information related to the Project including design documents of facilities and equipment shall not be released to any outside parties before concluding all contracts for the Project. Furthermore, both sides agreed that the estimated cost of the Project as described in ANNEX-3 shall never be duplicated or released to any outside parties before concluding all contracts for the Project.


7. Other relevant issues

7-1. Allocation of Necessary Budget

The Nigerian side agreed to allocate necessary budget for the proper operation and maintenance of the facilities provided by the Project.

7-2. Proper Use and Maintenance

Both sides understood that proper use and maintenance of the facilities were indispensable for their long-term use. The Nigerian side assured the Team that it would facilitate the proper use and maintenance of the facilities provided by the Project with the active involvement of concerned parties.



END

- ANNEX-1 Components and Facilities to be covered by the Project
ANNEX-2 Major Undertaking by Each Government
ANNEX-3 Project Cost Estimation
ANNEX-4 Schedule of the Project (TENTATIVE)
ANNEX-5 Estimation of works in each site by Nigerian Side (TENTATIVE)

8

9-
Rlyr

ANNEX-1 Components and Facilities to be covered by the Project

No.	Original and Survey No.	No. and Priority	Name of Primary School Interviewed	LGUBEA	No. of Students surveyed	Number of Rooms		Building		Toilet			Education Furniture		
						Number of Planned Classrooms (AxBxC-D)	Number of Head-master and Teachers Room	3 Class-room Type	4 Class-room Type	Number of Toilet Booth	Toilet house (4 booth type)	Toilet house (6 booth type)	Desk and Chair for 2 Students (set)	Desk and Chair for Teachers (set)	Black-board and Notice board (set)
1	1	1	RATBI MOSLEM PRIMARY SCHL ODINJO	IBADAN SOUTH EAST	880	6		2		6		1	120	6	6
2	2	2	STLUKE DEMONSTRATION SCHL MOLETE IBADAAN	IBADAN SOUTH EAST	932	12		4		12		2	240	12	12
3	3	3	ST. LEO'S CATHOLIC SCHOOL	IBADAN SOUTH EAST	1,246	9		3		8	2		180	9	9
4	4	4	I.M.G. PRIMARY SCHL OLUBADAN	IBADAN SOUTH EAST	980	18	1	5	1	18		3	360	25	18
5	14	5	ONISAPA C.P.S I	OGBOMOSO SOUTH	1,015	12	1	3	1	12		2	240	19	12
6	8	6	LA DEM. PRY. SCH.	ISEYIN	379	6		2		6		1	120	6	6
7	20	7	I.D.C. BASIC SCH. AKOBO	LAGELU	762	9		3		8	2		180	9	9
8	24	8	ISLAMIC MISSION SCH. MONIYA	AKINYELE	1,049	6		2		6		1	120	6	6
9	21	9	ST. AUGUSTINE R.C.M. AKINSAWE	LAGELU	589	9		3		8	2		180	9	9
10	25	10	ST. PHILIPS PRY. SCH. FASOLA	OYO WEST	585	6		2		6		1	120	6	6
11	32	11	CHRISTCHURCH SCH. I AKINFENWA	EGBEDA	820	6		2		6		1	120	6	6
12	37	12	ABADINA PRY. SCH. U.I	IBADAN NORTH	714	9		3		8	2		180	9	9
13	11	13	ST. MARY'S (RCM) PRY. SCH. I	ISEYIN	590	4			1	4	1		80	4	4
14	17	14	BAPTIST PRY. SCH. I IGBOORA	IBARAPA CENTRAL	1,022	9		3		8	2		180	9	9
15	42	17	COMM. PRY. SCH. I - IV AYEKALE IBADAN	IBADAN NORTH EAST	642	9		3		8	2		180	9	9
16	9	18	METHODIST PRY. SCH. AGO - IJIO	ISEYIN	338	3		1		4	1		60	3	3
17	16	19	METHODIST SCHOOL III	IBARAPA CENTRAL	665	9		3		8	2		180	9	9
18	7	20	COMM. PRY. SCHL. OLUODE	IDO	964	6		2		6		1	120	6	6
19	23	21	EBENEZER ANGLICAN SCH.	AKINYELE	923	12		4		12		2	240	12	12
20	39	22	BAPTIST PRY. SCH. MAYA LANLATE	IBARAPA EAST	420	7		1	1	6		1	140	7	7
21	44	23	ST. ANNE'S CATHOLIC SCHOOL	IBARAPA NORTH	349	3		1		4	1		60	3	3
22	35	24	BAPTIST BASIC SCH. IPASA	SURULERE	208	3		1		4	1		60	3	3
23	31	26	LA PRY. SCH. OKELOLA (SCH-3)	ATIBA	250	3		1		4	1		60	3	3
24	27	27	ST. MICHEAL ANG. RCM, ARAROMI	OYO EAST	1,791	9		3		8	2		180	9	9
25	34	30	COMM. BASIC SCH. KEEWO	SURULERE	112	3		1		4	1		60	3	3
26	6	31	ST. PETER'S PRY. SCH. APETE	IDO	1,246	9		3		8	2		180	9	9
27	10	32	ARMY CHILDREN PRY. SCH.	ISEYIN	340	3		1		4	1		60	3	3
28	41	34	ISLAMIC MISSION PRY. SCH. I & II AGUGU	IBADAN NORTH EAST	589	7		1	1	6		1	140	7	7
29	33	35	C.P.S I AYEPE	EGBEDA	601	12		4		12		2	240	12	12
30	29	36	BAPTIST PRY SCHL II, OTAMOKUN	OGO OLUWA	617	6		2		6		1	120	6	6
31	26	37	COMM. PRY. SCHL. OGUNKEYE	OYO WEST	380	3		1		4	1		60	3	3
32	13	39	AREAGO BASIC PRY. SCH.	OGBOMOSO NORTH	1,440	9		3		8	2		180	9	9
33	5	40	I.M.G. PRY. SCH. LAGOS BYE PASS	IBADAN SOUTH WEST	500	3		1		4	1		60	3	3
34	12	41	ST. DAVID'S PRY. SCHL. AGBOYIN	OGBOMOSO NORTH	1,236	12		4		12		2	240	12	12
35	15	42	MOLETE D.C. PRY. SCH. III	OGBOMOSO SOUTH	1,272	6		2		6		1	120	6	6
36	19	44	I.M.G. PRY. SCH. JOYCEB, OKE-ADO	IBADAN SOUTH WEST	454	3		1		4	1		60	3	3
Total					26,880	261	2	81	5	258	30	23	5,220	275	261
						Total Rooms	263				Total Toilet House	53			

ANNEX-2 MAJOR UNDERTAKING TO BE TAKEN BY EACH GOVERNMENT

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site		●
4	To construct the parking lot (within the site if incidental)		●
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the buildings	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity	N/A	
	a. The distributing line to the site		
	b. The drop wiring and internal wiring within the site		
	c. The main circuit breaker and transformer		
	2) Water Supply	N/A	
	a. The city water distribution main to the site		
	b. The supply system within the site (receiving and elevated tanks)		
	3) Drainage		
	a. The city drainage main (for storm, sewer and others to the site)		●
	b. The drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Telephone System	N/A	
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building		
	b. The MDF and the extension after the frame/panel		
	5) Furniture and Equipment		
	a. General furniture (Furniture not covered by the Project)		●
	b. Project equipment (Desks and chairs for students and teacher, blackboards etc.)	●	
8	To bear the following commissions to the Japanese bank for banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
9	To ensure unloading and customs clearance at port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine (Air) transportation of the products from Japan the recipient	●	
	2) Tax exemption and custom clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	●	
10	To accord Japanese nationals whose service may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contact, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work.		●
11	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts		●
12	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid		●
13	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment		●

(B/A : Banking Arrangement, A/P : Authorization to pay, N/A: Not Applicable)

ANNEX-3 Project Cost Estimation

The costs to be borne by the Japanese side will be disclosed after signing of the contracts for the works.

(1) Cost Burden on the Japanese Side

The costs to be borne by the Japanese side will be disclosed after signing of the contracts for the works.

(2) Cost Burden on the Nigerian Side

The costs to be borne by the Nigerian side will comprise the items shown in the table below.

Table A2-2 Cost Burden on the Nigerian Side

Item	Amount (Naira)	Remarks
(1) Site preparation cost	22,550,000	Demolition and removal of existing building, remaining foundation, tree etc.
(2) Access improvement cost		
Access soil paving	150,000	
Steel cover on ditch on the access	200,000	
(4) Bank account establishment commission	300,000	
Total	23,200,000	

(3) Estimation Conditions

- 1) Estimation point : October 2013
- 2) Exchange rate : 1 USD = 99.93 yen (TTS mean value from July to September 2013)
- 3) Construction period : January 2015 – March 2016
(14 months / 18.5 months including tender period)
- (4) Other : The Project will be implemented according to Japan's Grant Aid Scheme for Community Empowerment.



ANNEX-4 Schedule of the Project (TENTATIVE)

Year	2014												2015												2016		
Calendar Month	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
Exchange of Notes (E/N), Grant Agreement (G/A)		▼	▼		A/A																						
Agent Agreement (A/A)		Cabinet Approval	E/N G/A	▼																							
Tendering						Tendering: 4.5 month																					
Tender Document																											
Pre-qualification																											
Tender																											
Tender Evaluation, Contractor Contract																											
Rainy Season																											
Construction Works																											

Tendering: 4.5 month

Delivery of T/D

Tender Opening

Contract Signing

Evaluation

Construction: 14 months for 36 schools

ANNEX-5 Estimation of works in each site by Nigerian Side (TENTATIVE)

										Unit: NGN	
Original No.	Priority No.	School Name	LGEA	Demolition and Removal		Access Improvement		Ditch Cover		Total	Remarks
1	1	RATIBI MOSLEM PRIMARY SCHL ODINJO	IBADAN SOUTH EAST			Soil pave	50,000	Steel cover	50,000	100,000	
2	2	ST LUKE DEMONSTRATION SCHL MOLETE IBADAAN	IBADAN SOUTH EAST	Building	2,000,000					2,450,000	1 room in use for office
				Tree	50,000						
				Foundation	400,000						
3	3	ST. LEO'S CATH., SCHL, ORITA-CHALLENGE	IBADAN SOUTH EAST	Foundation	400,000					4,400,000	
				2 Buildings	4,000,000						
25	10	ST. PHILIPS PRY, SCH, FASOLA	OYO WEST	Foundation+Wall	800,000					800,000	
32	11	CHRIST CHURCH SCH. I AKINFENWA	EGBEDA	Foundation+Wall	800,000			Steel cover	50,000	850,000	
37	12	ABADINA PRY. SCH. U.I	IBADAN NORTH	Abandoned Well	100,000					100,000	
11	13	ST. MARY'S PRY. SCH. I	ISEYIN	Building	2,000,000					2,000,000	
39	22	BAPTIST PRY. SCH. MAYA LANLATE	IBARAPA EAST	Foundation	400,000					400,000	
44	23	ST. ANNE'S III IGANGAN	IBARAPA NORTH	Foundation	400,000					400,000	
6	31	ST. PETER'S PRY. SCH. APETE	IDO	Foundation	400,000					400,000	
33	35	C.P.S I AYEPE	EGBEDA	Building	2,000,000					2,000,000	
13	39	AREAGO BASIC PRY. SCH.	OGBOMOSO NORTH	Foundation	400,000					400,000	
5	40	I.M.G. PRY. SCH. LAGOS BYE PASS	IBADAN SOUTH WEST	Building	2,000,000	Soil pave	50,000	Steel cover	50,000	2,100,000	
12	41	ST. DAVID'S PRY, SCHL, AGBOYIN	OGBOMOSO NORTH	Foundation	400,000					400,000	
				Building	2,000,000					2,000,000	
15	42	MOLETE D.C. PRY. SCH. III	OGBOMOSO SOUTH	Building	2,000,000					2,000,000	2 rooms in use for pre-primary
19	44	I.M.G. PRY, SCH, JOYCEB , OKE-ADO	IBADAN SOUTH WEST	Building	2,000,000	Soil pave	50,000	Steel cover	50,000	2,100,000	
Total					22,550,000		150,000		200,000	22,900,000	

< The demolition, removal and access improvement works for the construction site shall be completed by September 2014 including removal of underground foundation and roots. The location of the building would be shifted to open space if the demolition and removal work would not be completed by September 2014.>

資料-5 ソフトコンポーネント計画

5. ソフトコンポーネント計画

(1) ソフトコンポーネントの背景

調査を行った 44 校の中には、一部、屋根や机・椅子の補修活動があったが、ほとんどの学校では、壊れたまま放置されているのが現状である。北部の学校と比較すると清掃活動を実施していることが認められるが、まだ十分ではない。

学校運営者、LGEA、教員、保護者との面談を通して、概して現地の人たちは、学校校舎を含めた建築物は 10 年程度で使えなくなるものと認識している。そのような意識のまま、日常の清掃・維持管理活動の重要性について助言・指導せずに教室を増築すると、本来の建物の耐久年数を待たず建設整備した施設は早期に破損、劣化する可能性は高い。また、学校にこれまで便所がなかったため、便所ピットの汚泥処理などに適宜な実施が必要であることを助言・指導する必要がある。さらに、学校施設の維持管理に必要な予算を十分に確保できないナイジェリア国においては、校長・教員、コミュニティ、PTA 等から成る SBMC の参画・支援が学校施設の維持管理活動には必要不可欠である。

FME、UBEC、SUBEB は、いずれも、このような維持管理の重要性を認識しており、ソフトコンポーネントが必要であるとの意見である。

このため、本プロジェクトでは計画対象校関係者の施設維持管理に対する意識と知識が向上し、整備された施設が適切に維持管理されることを目標に、ソフトコンポーネントを実施する。

(2) ソフトコンポーネントの目標

コミュニティ開発支援無償資金協力にて建設されたオヨ州の小学校施設の持続性を確保し維持管理が向上することをソフトコンポーネントの目標とする。

そのために以下の活動を行う。

- a) 校舎・教室に関する維持管理ガイドライン・マニュアルの整備
- b) モデル校での維持管理活動の実践（4 校）
- c) 維持管理ワークショップのモデル校 4 校での開催（オヨ州教育委員会 SUBEB、地方教育委員会 LGEA 参加）
- d) オヨ州教育委員会 SUBEB と地方教育委員会 LGEA が整備されたマニュアルをモニタリング及び指導活動のツールとして使用できるよう助言・指導

(3) ソフトコンポーネントの成果

ソフトコンポーネントの成果を以下のように設定する。

- a) ワークショップによって現状の維持管理の問題が議論、認識され、改善方法が検討される。
- b) 上記活動に基づいて、維持管理マニュアル、モニタリングマニュアルが作成され、

SUBEB/LGEA で周知される。

- c) 対象校で維持管理マニュアルの内容が理解され、マニュアルに従って維持管理活動が実施される。
- d) 維持管理マニュアル、モニタリングマニュアルに基づいて、対象校以外のオヨ州の小学校に維持管理強化の指導がなされる。
- e) LGEA、校長・教員に学校運営・維持管理のオーナーシップ意識が醸成される。

(4) 成果達成度の確認方法

- ・ モニタリング・マニュアルに従って、SUBEB/LGEAが定期的に清掃・維持管理状況のモニタリングを行う。
- ・ 直接の受益者である生徒に対するアンケート調査を行う。
- ・ 校長、教員、コミュニティリーダーに対する面談調査を行う。

(5) ソフトコンポーネントの活動（投入計画）

1) ドラフト実施ガイドラインの作成

過去実施の実施ガイドラインを参考にオヨ州の実情に合ったドラフト実施ガイドラインをコンサルタントが作成する。

<実施ガイドラインの内容>

1. 背景 Background of the Soft Component
2. 目的 Purpose of the Soft Component
3. 成果 Outputs of the Soft Component
4. 評価 Evaluation of Outputs Achieved
5. 活動 Activities (Inputs) of The Soft Component
6. 活動資源 Soft Component Implementation Resources
7. 実施スケジュール Soft Component Implementation Schedule
8. 成果品 Items of Output
9. ナイジェリア国側責務 Responsibility of The Nigerian Side

2) 現地側カウンターパート機関への説明

コンサルタントは、上記ガイドラインを用いて UBEC、SUBEB に対してソフトコンポーネントの目標、目的、実施内容、活動スケジュールについて説明を行う。理解を徹底させるとともに、学校施設維持管理活動に対するオーナーシップ意識を促す。また、実施ガイドラインを策定する。

3) 現地タスクフォースの設置

計画・研究・統計部長、同副部長、JICA 担当係、モデル校を所管する LGEA 代表者、視学官等の 5～6 名で構成するタスクフォースを SUBEB 内の計画・研究・統計部内に設置する。

なお、学校の維持管理に果たす役割の大きい SBMC は SUBEB の社会動員・ICT 部 (Dept. of Social Mobilization & Information Communication Technology) が支援しており、ソフトコンポーネントの活動には社会動員・ICT 部にも協力を依頼する。

4) モデル校の決定およびオリエンテーション

対象校を 4 ブロックに分け、その中から維持管理活動を行うモデル校を選定する。

5) 小学校の維持管理マニュアル作成

- ・ 現地タスクフォース及びモデル校の校長、コミュニティリーダーと協議を行い、彼ら自身の問題意識を啓発しながらモデル校の完成後にどのように学校施設の維持管理の改善を行っていくかについて検討・分析する。
- ・ コンサルタント側が用意するマニュアル雛形に基づき、オーナーシップ意識の醸成に資するため、現地タスクフォースが現地側のアイデアを付加し自らマニュアルを修正する参加型方式とする。
- ・ 生徒が、学校の維持管理マニュアル及び個々の維持管理活動について容易に理解できるような、絵解きポスターを作成する。
- ・ コンサルタント側は、現地側が作成した案にコメントを加え、指導する。

<維持管理マニュアルの内容>

1. 序文 Introduction
- 1-1 概要 Outline of the Project
- 1-2 マニュアルの背景 Background of this Manual
- 1-3 目的 Objective of this Manual
2. 維持管理・管理活動 Building and Facilities Maintenance Control Activities
- 2-1 タスクフォースの責務 Duties of Local Task Force
- 2-2 施設 Building
3. 健康・衛生・環境管理活動 Health, Sanitation and Environment Control Activity
- 3-1 タスクフォースの責務 Duties of Local Task Force
- 3-2 清掃 Cleaning Activities
- 3-3 トイレ管理 Sewage Treatment
- 3-4 廃棄物処理 Garbage Treatment
- 3-5 グッドプラクティス General Good Practice
- 3-6 SBMCとの協力 Instructions to SBMC Members
4. 財務及びモニタリング管理 Financing, Monitoring and Controlling the Maintenance
- 4-1 タスクフォースの責務 Duties of Local Task Force
- 4-2 概算維持管理費 Estimated maintenance cost of the classrooms and toilets
- 4-3 費用確保 Fund Raising
- 4-4 予算と預金 Budgeting and Deposit
- 4-5 モニタリングと記録方法 Monitoring and Record Keeping

6) 施設維持管理モニタリングマニュアル作成

- SUBEB の自助努力を引き出しながら、計画対象校の維持管理活動のモニタリングのためのマニュアルを作成する。
- モニタリングマニュアルの雛形はコンサルタントが前回協力での作成分を見直し・作成する。
- コンサルタントは修正モニタリングマニュアルを基に、現地タスクフォースと協議し、現地側のイニシャティブを引き出しながら、現地タスクフォースが維持管理マニュアルを確認・作成するのを支援する。コンサルタントはマニュアルに評価を加え、コメントし、フィードバックを行い、現地タスクフォースがモニタリングマニュアルを完成させる。
- 各校は、施設の維持管理の状況を上記モニタリングマニュアルに基づき、LGEA 視学官を通じて年に一度SUBEBに報告する。SUBEB は各学校の維持管理報告書の全体取りまとめを行い、UBECに報告し、UBECは年に一度JICA ナイジェリア事務所に報告する。

<モニタリングマニュアルの内容>

1. SUBEBとLGEAの責務 Responsibilities of SUBEB and LEGA
2. インスペクションシート Inspection Sheets (3 Sheets)
 - Sheet 1 for inspecting classroom facilities including furniture and fixture
 - Sheet 2 for inspecting toilet and facilities
 - Sheet 3 for inspecting state of cleanliness, sanitation and management
3. 評価シート Evaluation Sheet
4. SUBEBモニタリングシート Monitoring Sheets (3 Sheets) for SUBEB

7) 学校施設の維持管理ワークショップの準備・実施・まとめ

- 主催者はSUBEB の現地ファシリテーター、協力モデレーターはその他タスクフォースメンバーとなり、日本人コンサルタントは全体の監督・指導を行う。
- ワークショップにおけるトレーニングメニュー、必要な教材・資機材、スケジュール、役割分担はタスクフォースとの協議により決定する。
- モデル校の維持管理活動内容を計画対象校の全校に普及させるため、モデル校の周辺に立地する協力対象校の校長及びコミュニティリーダーをモデル校に招く。
- 各校の校長、コミュニティリーダーは、モデル校における維持管理活動の実践を視察し、トレーニングを受け、意見交換会を行う。
- ワークショップ実施後、現地タスクフォースと反省会を行い、ワークショップ・レポートを作成する。

8) モデル校における維持管理活動の実践

教員、生徒及び SBMC は、上記の維持管理マニュアルに基づき、学校改善につなげるための率先した維持管理活動を実践する。

これら実践により、以下のような効果が期待される。

生徒が、教室、机・椅子等の学校施設は、自分たちのため、また、今後入学してくる後輩のために大事に使用すべき物であることを認識するとともに、自ら学校施設を清掃する習慣が身につく。

SUBEB 及び LGEA が建設後の施設維持管理状況をモニタリングし、定期的に改善を指導する体制が形成される。

便所ピットの汚泥処理、施設の維持管理等について、必要な技術と知識が得られ技術の普及が図られる。特にトイレをきれいに使う、清掃を行う、汚物ピットを処理するなどの維持管理について、徹底した指導により、技術の定着がなされる。

学校側には維持管理マニュアルが整備され、SUBEB、LGEA には維持管理指導モニタリングマニュアルが整備され、双方の維持管理体制が強化される。

表 1 ソフトコンポーネント活動内容

			活動内容	コンサルタント	SUBEB, LGEA, School
1	開始	タスクフォースの設置を支援する。	ソフコン開始前にあらかじめ人選を指示 構成・人員に関し関係者と意見交換 タスクフォース結成と活動内容の説明 タスクフォース・メンバーの活動指導		-
		ソフコン目的/内容/スケジュールを関係者に説明し理解を徹底させる。	関係資料作成 関係者との協議・決定		
2	維持管理マニュアル作成	既存のマニュアルを改善し、マニュアル・ドラフトを作成する。	関係者から意見聴取 ドラフトの作成 関係者との協議・決定 改定マニュアルの作成 改定マニュアルの指導		-
3	オリエンテーション	各校関係者を集め建設される施設内容・建設スケジュール・ソフコン内容を周知徹底し意識啓発する。	周知 実施 タスクフォースとの反省会 報告書作成		
4	ワークショップ	学校運営維持管理の具体的手法の説明・指導を行う。	関係資料準備 実施 タスクフォースとの反省会 報告書作成		
5	維持管理指導実施	円滑・持続可能な学校運営維持管理が出来るよう指導を行う。	タスクフォースとの定期会合・指導 各校の維持管理体制の確認 実施 タスクフォースとの反省会		
6	維持管理・モニタリングマニュアル最終化	維持管理・モニタリングマニュアルを作成する。	ドラフト作成 ソフコン委員会の意見徴収 マニュアル修正・最終化 マニュアルの説明・実施指導		
7	モニタリング(フォローアップを含む)	維持管理状況をモニターする。	モニタリング実施 モニタリング結果の集約 モニタリング結果の公表 タスクフォース及びソフコン委員会との反省会 報告書作成・マニュアルへのフィードバック		

(6) ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法

日本人コンサルタント：本ソフトコンポーネント全体の監督・指導を担当し、「ソフトコンポーネント完了報告書」をJICAに提出する。

UBEC：ソフトコンポーネント実施に協力する現地タスクフォースを設置する。対象校36校への連絡、召集、指導等の責任者となる。

SUBEB：施設の維持管理問題のオヨ州における責任者となる。モデル校でのオリエンテーション、ワークショップを主催し、学校間の連絡、召集、指導等を実施する。

LGEA 視学官：各学校の維持管理をSBMCとともにモニタリングする。

小学校（校長、教員）：施設の維持管理問題の各学校における責任者として、SBMCおよびLGEAの活動に協力する。

現地タスクフォース：SUBEBの計画・研究・統計研究部が中心となり、SUBEB 計画・研究・統計研究部のスタッフ、モデル校のLGEA 責任者、視学官で構成される。コンサルタントとの打ち合わせにより、小学校の維持管理マニュアルをワークショップ開催に先立ち自助努力的に作成し、このソフトコンポーネント実施の終盤にSUBEB の施設維持管理モニタリングマニュアルを自助努力的に作成する。ソフトコンポーネント実施後は、施設維持管理状況をモニターし、維持管理状況の年次報告書の取りまとめを年に一度JICA ナイジェリア事務所に報告する。

ファシリテーター：オリエンテーション、ワークショップ実施時にこの現地タスクフォースの中から任命され、SUBEB、LGEA 等の行政側関係者並びに校長・教員、生徒、SBMC等の学校関係者の理解がスムーズに行われるように努めるものとする。

School Based Management Committee (SBMC)：SBMCは、地域における多様な学校関係者を学校とコミュニティの懸け橋となるものとして組織したものである。オヨ州ではSUBEB社会動員・ICT部 (Social Mobilization & Information Communication Technology)が支援し、LGEAと密接な連携の下に学校の維持管理モニタリングを実施する。

これらの関係者の能力向上を促進し、また、施設建設・供用開始後のモニター、指導監督体制を強化することは、計画施設が持続的に維持管理されるために大変重要である。

(7) ソフトコンポーネントの実施工程

ソフトコンポーネントは、施設建設の後半に SUBEB タスクフォースを設置し、完工直前または供用開始時にその他活動を実施し、以下の実施工程とする。

年	2015												2016		
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
建築工事															
ソフトコンポーネント															

図1 ソフトコンポーネント実施工程

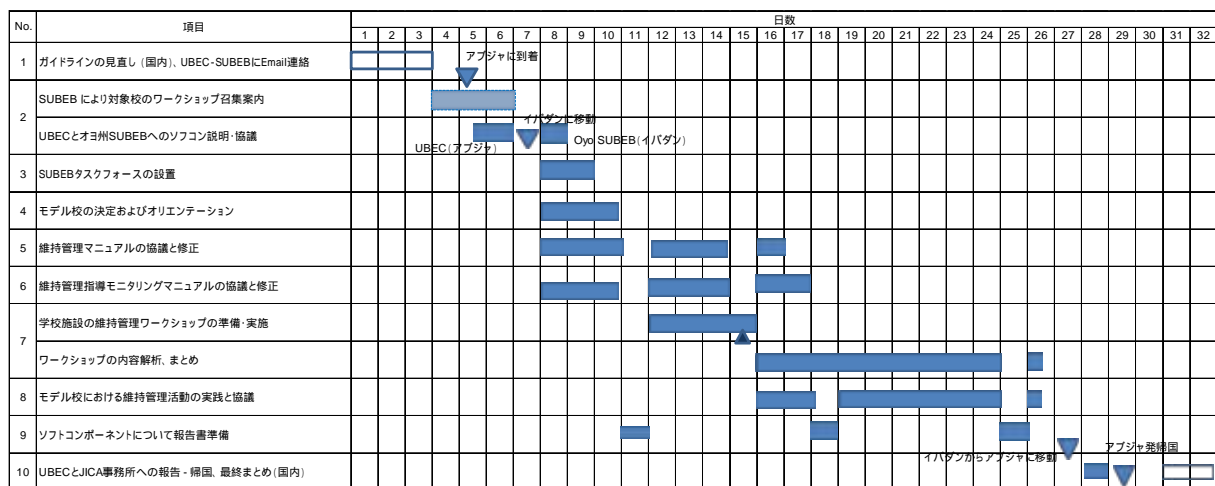


図2 ソフトコンポーネント コンサルタント活動スケジュール

(8) ソフトコンポーネントの成果品、作成担当者

ソフトコンポーネントの成果品は以下のとおりとする(カッコ内作成者)。

- ・ソフトコンポーネント実施ガイドライン (コンサルタント、UBEC、SUBEB)
- ・施設維持管理マニュアル (コンサルタント原案作成、SUBEB、各学校)
- ・施設維持管理指導モニタリングマニュアル(コンサルタント原案作成、SUBEB)

(9) 相手国側の責務

SUBEB は現地タスクフォースを組織し、ソフトコンポーネント計画に従って維持管理を実施する。そのための要員、予算を確保する。SUBEB と現地のタスクフォースはソフトコンポーネント計画に従ってモニタリングを実施し、学校年度の最終月(8月)に合同戦略会議を開催する。

資料-6 収集資料リスト

6. 収集資料リスト

番号	名 称	形態 図書・ビデオ・地図 ・写真等	オリジナル・コピー	発 行 機 関	発行年
1	National Economic Empowerment and Development Strategy (NEEDS)	データ	コピー	National Planning Commission	2004
2	Nigeria Vision 20:2020	データ	コピー	National Planning Commission	2009
3	Mid-Term Report of the Transformation Agenda (May2011 - May 2013)	データ	コピー	National Planning Commission	2011
4	Nigeria Vision 2020, Economic Transformation Blueprint, Macroeconomic Framework, Oyo State Contribution	データ	部分コピー	National Planning Commission Stakeholders Development Committee	2010
5	Oyo State Economic Empowerment and Development Strategy 2 (OYO-SEED 2) 2010- 2012	データ	コピー	Oyo State	2010
6	Oyo State School Based Management Committee (SBMC) Policy	データ	コピー	Oyo State	2012
7	School-Based Management Committee Guidebook	データ	コピー	Kwara State with support from ESSPIN	2010
8	Developing School Based Management Committee (SBMCs) Trainers' Manual	データ	コピー	UBEC	2011
9	Revised Guideline for the Development of School-Based Management Committees	データ	コピー	UBEC	2011

番号	名 称	形態 図書・ビデオ・地図 ・写真等	オリジナル・コピー	発 行 機 関	発行年
10	Federal Republic of Nigeria Education and Skills Policy Notes Policy Note 1: Education Access, Equity and Quality in Nigeria	図書	コピー	World Bank	2013
11	The Reviewed Federal Government Approved Guidelines for Accessing, Disbursing and Utilizing the FGN-UBE Intervention Fund	図書	コピー	UBEC	2012
12	UBE COMMUNITY INITIATED SELF-HELP PROJECT IMPLEMENTATION MANUAL	データ	コピー	UBEC	2009
13	A GUIDANCE MAINTENANCE MANUAL FOR UBE COMMUNITY INITIATED SELF-HELP PROJECTS	データ	コピー	UBEC	2010
14	Nigeria's Vision 2020 National Technical Working Groups Induction Program	データ	コピー	National Planning Commission and the Vision 2020 Secretariat	2009
15	Report of the Vision 2020 National Technical Working Group on Education Sector	データ	コピー	National Planning Commission	2009
16	Nigeria 10-Year Strategic Plan for Education	データ	コピー	UNESCO	2007
17	A Review of Official Development Assistance to Nigeria 1999-2007	データ	コピー	National Planning Commission	2007
18	4-Year Strategic Plan for the Development of the Education Sector 2011 - 2015	データ	コピー	Federal Ministry of Education	2011
19	UBEC 2011 Annual Report	図書	コピー	UBEC	2011

番号	名 称	形態 図書・ビデオ・地図 ・写真等	オリジナル・コピー	発 行 機 関	発行年
20	Minimum Standard for Planning of Basic Education Infrastructure	データ	コピー	UBEC	2006
21	School Infrastructure and Maintenance - ESSPIN	データ	コピー	DFID	2009
22	UBEC Service Charter	データ	コピー	UBEC	2013
23	Nigeria DHS EdData Survey 2010	データ	コピー	National Population Commission (NPC) in collaboration with the Federal Ministry of Education and the Universal Basic Education Commission	2010
24	2010 National Personal Audit - Directory of Public Primary School	データ	部分コピー	National Personal Audit	2010
25	Mid-Term Evaluation of the EFA FTI Country Case Study: Nigeria, <Draft>	データ	コピー	Cambridge Education, Mokoro and Oxford Policy Management (OPM)	2009
26	INSTITUTIONAL ASSESSMENT - ESSPIN	データ	コピー	DFID	2006
27	Nigeria Education Management Information System Policy	図書	コピー	Federal Ministry of Education	2007
28	A Guidance Building Manual for Self-Help Basic Education Project in Nigeria	図書	コピー	UBEC	2004